



FD・SD ジョイントセミナー報告

- ❖ 第1回 (10月29日)
演題：「言葉だけでは伝わらない」
講師：福島中央テレビ 駒木根尚 氏 、 齋藤裕樹 氏

- ❖ 第2回 (11月19日)
演題：「便利な資料作成・道具活用術」
講師：福島大学 中山明 氏 、 岡田努 氏

- ❖ 第3回 (12月6日)
演題：「イマドキの学生って・・・」
講師：福島大学 朝賀俊彦 氏 、 五十嵐敦 氏

平成 22 年度 F D ・ S D ジョイントセミナー報告

板橋孝幸

総合教育研究センター F D 部門では、人事課の人材養成プロジェクトチームや全学の F D プロジェクトと協力して、毎年 F D ・ S D ジョイントセミナーを実施しています。本年度は、「壁をラクラクこえていこう—こんなやり方あったのか!—」をテーマに、下記のような内容で行い、学内外から多くの参加者がありました。なお、F D ・ S D ジョイントセミナーは年 4 回実施していますが、うち 1 回は「新任教職員研修」としてしています。これは、本報告書の別ページに取り組み内容を掲載していますので、ここでの報告はそれ以外の 3 回分とします。本セミナーは毎回收録しており、参加できなかった方やアカデミア・コンソーシアムふくしま加盟大学に DVD をお渡ししています。

< 第 1 回 >

テーマ: 「言葉だけでは伝わらない」

日時: 10 月 29 日 (金) 14:00~15:30 場所: 総合教育研究センター棟 1 階特別教室

講師: 福島中央テレビ 駒木根尚氏、斎藤裕樹氏

< 第 2 回 >

テーマ: 「便利な資料作成・道具活用術」

日時: 11 月 19 日 (金) 14:40~16:10 場所: 総合教育研究センター棟 1 階特別教室

講師: 福島大学 中山明氏、岡田努氏

< 第 3 回 >

テーマ: 「イマドキの学生って・・・」

日時: 12 月 6 日 (月) 14:40~16:10 場所: 総合教育研究センター棟 1 階特別教室

講師: 福島大学 朝賀俊彦氏、五十嵐敦氏

本セミナーは、明日からの仕事に使えるような実践的な内容を主として扱っています。第 1 回目では、福島中央テレビの番組製作に関わって仕事をされているお二人から、視聴者を引きつけるためのプレゼンテーションのコツについてご講演いただきました。第 2 回目と第 3 回目は、昨年度から取り組んでいる「こま・ちえプロジェクト」(授業実践記録集の作成)にご執筆いただいた本学教員に協力してもらいました。昨年度までは、外部講師に講演を依頼する方法を主として取ってきましたが、身近な教職員の工夫を知ることによって互いに教育改善についての関心を高めてもらいたいと思い、企画しました。

参加者のアンケートからは、他の方々のさまざまな取り組みや工夫を知ることによって、人にものを伝えるコツを学び、仕事の改善・振り返りができた等の感想があり、大変好評でした。

第1回

言葉だけでは伝わらない

日時：平成22年10月29日(金) 14:00～
 場所：総合教育研究センター棟1階「特別教室」
 講師：福島中央テレビ 駒木根尚氏、斎藤裕樹氏
 概要：テレビに学ぶプレゼンテーション術！
 ニュース・番組作成の現場から、テレビ的な考え方を学ぼう。

第2回

便利な資料作成・道具活用術

日程：平成22年11月19日(金) 午後(予定)
 場所：総合教育研究センター棟1階「特別教室」(予定)
 講師：福島大学 中山明氏、岡田繁氏
 概要：会議や授業など、日々の業務で使える便利な資料の作成・道具の活用術。これで面倒な資料の作成も、たまった業務もラクラク解決！
 ※お使いの便利な道具がありましたら、ぜひ持ってきてみなさんにご紹介ください。

第3回

イマドキの学生って…

日程：平成22年12月6日(月) 午後(予定)
 場所：総合教育研究センター棟1階「特別教室」(予定)
 講師：福島大学 朝賀俊彦氏、五十嵐毅氏
 概要：「最近の学生は……」と思う方、必見！学生のキャリア形成や授業の運営方法などの話題提供を踏まえ、イマドキ学生の支援・指導についてみなさんで考えてみませんか？

「こんなやり方があったのか！」

壁をブクブク パズでぶくぶく

平成22年度 福島大学FD・SD・DIO・DIOインストラクター

福島大学総合教育研究センターFD部門、人材育成プロジェクトチーム
FDプロジェクト

問い合わせ先：総合教育研究センター事務局
 電話：024-548-8110 FAX:024-548-6631
 URL: <http://www.educ.fukushima-u.ac.jp/rgef/>
 E-mail: kyoiku-s@as1.adb.fukushima-u.ac.jp

※セミナー先着50名まで、前日まで。事前申し込みが必要
 (総合教育研究センター事務局まで)

学生との協同の 「FD 宿泊研修」について



FD 宿泊研修スケジュール

9月26日(日)

- 11時20分 本部事務局棟前集合
11時30分 本部事務局棟前出発(東三番館送迎バス)
12時15分 東三番館「やまびこ」着 昼食
13時30分 開会行事 進行役:FDプロジェクト責任者 板橋教員
(場所:東三番館「やまびこ」)
学長挨拶 入戸野学長
実行委員会説明 中村副学長
- 13時45分 第一セッション
～15時45分 ～高校と大学の学びの違いとは?～
- 15時45分 ～ 休憩
- 16時15分 第二セッション開始
～18時15分 ～大学に必要なスタディ・スキルとは?～
- 18時30分 夕食・懇親会
～20時30分頃

9月27日(月)

- 7時00分 朝食
～8時50分
- 9時00分 第三セッション
～11時00分 ～報告会とまとめ～
- 閉会挨拶 中村副学長
- 11時00分 昼食
～11時25分
- 11時40分 東三番館出発 旅館送迎バス
- 12時30分 大学着

「FD宿泊合宿に参加しての感想・報告文」

人間発達文化研究科 2年 竹内 望

[1班のまとめ]

○班員構成

- ・学類生・・・稲見尚、Ng lay sion、宋理莉、平紘幸
- ・大学院生・・・竹内望
- ・教員・・・鶴巻正子教授、板橋孝幸特任准教授

計7名

以上のメンバーで、FD宿泊合宿の全体テーマ「大学での『学び』って何?～スタディ・スキルについて考える～」についてグループワークを行った。

○第1セッション「高校と大学の学びの違いとは？」

授業選択（時間割構成）に議論は集中し、大きく二つの問題点があげられた。

(1) シラバスの使用方法

- ・シラバスに記載されている内容がわかりにくい
(実際の授業を見ることなく、事前登録が必要なものなど)
- ・授業の詳細がわからない
- ・情報が少ない

(2) 授業について

- ・教員に質問する機会が少ない（授業後に話すことができない）
- ・授業の際に、視覚資料がない
- ・話し方について（声量・抑揚）について、工夫してほしい

これらの問題点などから、学生は受け身でいることが、多いのではないかということがわかった。また、教員と学生で認識のズレが生じていることもあきらかとなった。

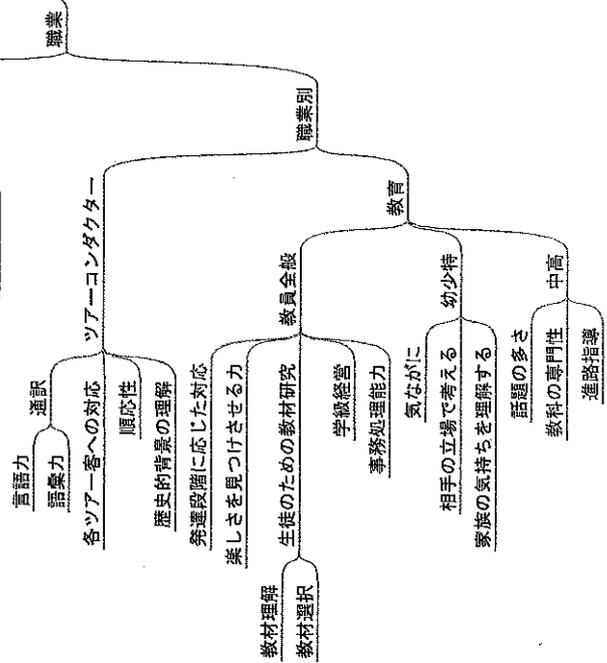
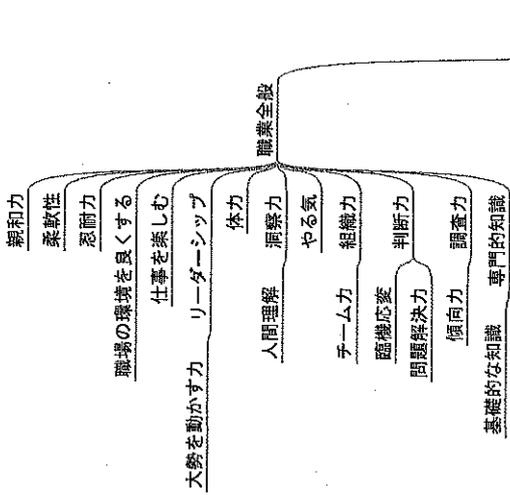
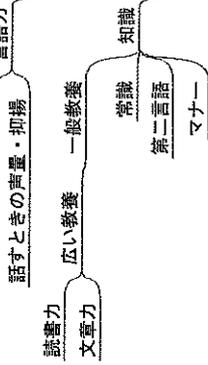
例えば、レポートの書き方である。授業後の感想やレポートを書く際の形式について、指導してほしいという声が多数あがった。しかし、教員はレポートなどの文章の書き方は、小学校の作文指導で学習済みだと認識していた。学習済みだと認識していた教員と、中高と文章を書くトレーニングをしていなかったために、小学校で受けた作文指導を忘れてしまっている学生とで、ズレが生じていたのだ。

○第2セッション「大学に必要なスタディ・スキルとは？」

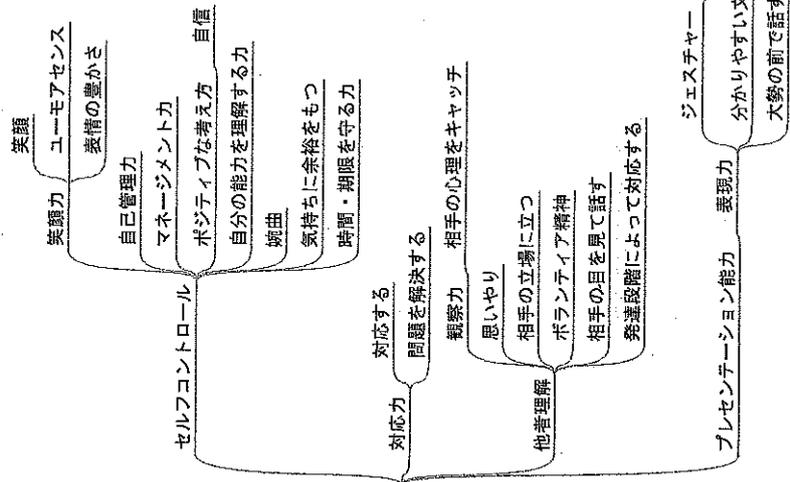
第1セッションで話し合ったことをふまえて、大学4年間で身につけたいスタディ・スキルについてKJ法を用いて、意見を出し合った。

1班の卒業後の進路は、幼稚園教諭、小学校教諭やツアーコンダクターなどの、人とのコミュニケーションが重要視される職業に就きたいと考えていることがわかった。また、1班には留学生が2名いたために、これまでの話し合いの中で、他の班よりもコミュニケーションの重要性について実感していた。このような経緯から、4年間で身につけたいスタディ・

明確に話す



コミュニケーション能力



スキルの中でも、「コミュニケーション能力」に焦点化することにした。

※1 (KJ法でまとめた意見は、左頁のマインドマップに)

コミュニケーション能力について話し合っていく中で、身につけたスタディ・スキルを実践する場について、意見が移行した。そのため、身につけたコミュニケーション能力を発展させる「職業力」について再びKJ法を用いて意見を出し合った。※1

第2セッションの話し合いを通して、どのような職業においてもコミュニケーション能力は、非常に重要なワーク・スキルであるということがわかった。さらに、4年間で身につけるスタディ・スキルとは、4年間の中で段階を経て身につけるものや、生涯をかけて磨きあげていくものだと実感することができた。

○第3セッション「報告会とまとめ」

<1班の感想>

- ・授業について様々な意見が出たことをふまえ、受けてみたい理想の授業を自分たちで構想してみたい
- ・すべてグループ・ワークで行うのではなく、合宿にきた全員で話し合う機会を設けてほしい
- ・これまで、関わることもなかった他学年とコミュニケーションをとることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。
- ・留学生もこのような会に参加できたことで、お客様ではなく共に学ぶ同級生として大学の活動に参加することができたのではないかと考える。
- ・今回話し合ったことを、この場で終わるのではなく、大学全体に広がっていくように活動していきたい

人間発達文化学類2年 遠藤 宏美

[2班のまとめ]

○班員構成

- ・学類生・・・遠藤宏美、鈴木亜弥、松井隼、糠澤摩美
- ・大学院生・・・馬場彩果
- ・教員・・・入野修学長、千葉桂子教授 職員・・・多田教務課員

計8名

第2セッションにおいて、大学で必要なスタディ・スキルについてKJ法を用いて話し合った。まず、必要だと考えられるスタディ・スキルについてそれぞれ書き出した。次に、それぞれ書き出したものを似ているもの同士集め、グループ分けをし、以下の12点にまとめた。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1.情報倫理観 | 7.知的探究心 |
| 2.情報収集・分析力 | 8.課題探究心 |
| 3.パソコンスキル | 9.セルフマネジメント |
| 4.文章能力 | 10.自主的に行動する能力 |
| 5.クリティカルシンキング | 11.コミュニケーション能力 |
| 6.異文化理解 | 12.集中力 |

これらを学年ごとに分けていくというのは困難かと思われた。しかし、“レポート作成にあたり、パソコンスキルは1年生のうちから必要だ”、“自主的に行動する能力は常にありたい”などの意見が交わされ、他10点についても同様に考えていき、学年ごとに振り分けた。その結果、まず1年生で身につけたいスタディ・スキルは、上記の1～5である。情報化社会である現代、身の回りに溢れている情報を鵜呑みにするのではなく、どれが正しいかを文章で表現するには文章能力が必要となってくる。故に、1年生でぜひ身につけておきたい。2年生では、6・7を身につけるべきとなった。2年生は少しずつ専門分野が入ってくる。そのため、あらゆるものへ興味・関心を持ち、観察・探究することで視野が広がる。また、その視野の中に異文化理解も取り入れることで、世界観が広がるのではないかと考える。3年生では、8.課題探究心が必要であると考え。これは、思考力や問題解決力・専門知識などで構成されているものである。3年生は、卒業論文を作成し始める時期にあたるため、これらの能力が必要となると考える。4年生では、自身力や向上心・自己理解で構成されている、9.セルフマネジメントが必要であると考え。これは、1～3年生で身につけたものをふまえ、振り返ることで自信にしていくというものである。これらは学年ごとに振り分けたが、1年生で身につけたものはそこで終るのではなく、その後も継続してスキルを磨いていくことが大切である。11、12は常に意識し、経験を積むことでスキルアップに繋がるのである。13.集中力に関しては、上記全てのものの根底にあるべきだという結論に至った。

これらを図で表現するにあたり、身につけるべきスタディ・スキルを学年ごとのロケットに見立てて作成した。地球は「福島大学入学」であり、そこから1年生のロケットが飛び出し、最後には月「自己実現」に到達するというものである。月を卒業としなかった理由としては、卒業は単なる通過点に過ぎず、自分のなりたい自分になれたかどうか、またそうなること（これを自己実現という言葉で表現した）を目標として考えたためである。

自分たちが必要だと考えたスタディ・スキルであるので、目標達成のためにも日々努力していきたいと考える。

[3班のまとめ]

○班員構成

- ・学類生・・・荒川桃子、加藤美喜子、竹内亨
- ・教員・・・中村副学長、富田教授

計5名

(第3セッション発表まとめ)

私たち3班は「大学に必要なスタディ・スキル」を考えていく上で、まず現時点での大学卒業後の目標をそれぞれ挙げました。

すると、

- ①地元就職する(地域型)
- ②海外を視野に入れた就職をする(国際型)

という目標の2つに大きく分かれました。(横造紙下段、緑色の枠で囲んであるものがそうです)

次に、その目標に到達するために大学で身につけたいスキルを学年ごとに大別して挙げていくことにしました。(紫色の枠で囲んであるものがそうです)

さらに、そのスキルを身につけるために大学で具体的に何をするかを学年ごとに大別して挙げました。(赤色の枠で囲んであるものがそうです)

このような手順を踏んだことによって抽象的→具体的に考えていくことができたので、やらなければならないことが具体的に何なのか、そのステップを発見することができました。

(たとえば「TOEIC700点とる」ために「大学1年生で上級英語を受講する」など)

また①地域型と②国際型で共通して挙げられた大学に必要なスキルは、「コミュニケーション能力」でした。

3班で挙げられた「コミュニケーション能力」の意味は広義的な意味を持っていますが、なかでも「英会話力」「積極性」という意味において挙げられました。

(感想)

FD 合宿を通して曖昧だった自分の将来を「現時点で、なるべく具体的に」考えたことは、2セメから具体的に自分は何をすべきなのかを見直す機会となったので、とても有意義でした。また、自分だけでなく友達の将来のビジョンを語り合ったり、先生方と大学をよりよい学びの場にするにはどうしたらよいのかということについて話し合ったりしたことは、普段の学校生活の中ではなかなか体験できない貴重な時間だったと思います。

FD 合宿に参加して改めて考えた自分の将来を実現させられるように、2セメからも一歩一歩着実に頑張りたいです。

[4班のまとめ]

○班員構成

- ・学類生・・・芳賀友洋、吉澤俊哉
- ・教員・・・藤本典嗣准教授、難波謙二教授 職員・・・上野圭三教務課長

計5名

私たちの班では、理工学類の先生方と学生、さらに職員の方というメンバー構成から、主に理工学類の中で大学生生活を過ごす上で必要なスタディ・スキルについての話し合いを行った。

特に重要なスタディ・スキルとして①学習力(個人)、②関係形成、③自己形成の3つが挙げられた。順を追って説明していくと、まず①学習力(個人)については、論文を書く力(言い換えればコピペではなく、きちんと自分自身で考えた文章を書く力)、読解力(与えられた情報が何を意味しているのかについてきちんと理解できる力)、専門英語(理工で言えば理工英語)の習得が重要だといえる。②関係形成については、先輩・後輩・先生とのコミュニケーションやフィールドワーク(またはグループ活動)などを行うことによって身につくといえる。このような関係形成を行っていくことで集団行動力の向上にもつながる。また、こうした集団行動において周囲から得られたもので自分自身として必要だと思ったスキルを積極的に自分のものにする、“スキルを盗む”ということも関係形成から得られる貴重なスキルの習得法である。③自己形成においては社会に出た際に、大学までには味わうことがあまりない世間の荒波に対抗できるような一般社会に対する対応力(または社会で生かせる力)というものを課外活動(アルバイトやサークル、ボランティア)で身につけることが必要である。

これら3つのことは、どれか1つのことにのみ集中して行うのではなく、互いのバランスをうまくとりながら行うことが大切である。

※今回は“自己形成”という言葉を用いたが、大学で色々な人やモノと触れ合うことで周囲との相互作用により、今まで見えなかったものが見えてくるようになる、つまり大学は“自分の素質を見つけ出す(発見していく)場”ということから、形成という言葉よりも自己発見という言葉を用いても良かったのではないかという意見が出されたので、こちらのまとめの方で報告させていただきます。

さらに、私たちの班は4年生が2人だったということもあり、卒業論文に取り組んでいる立場からの意見としても、話し合い、まとめた。

(※上述の部分と重なるところがあるが、対策の面で異なる意見となっている)

4年生という立場になって特に必要だと感じたところは

- i. 英語力
- ii. 文章力(物事を道筋立てて説明できる力)
- iii. 目上の人(先輩、先生、初対面の人)と話せる力

という3つの部分だった。これら“必要なこと”を身につけるためのスタディ・スキルとし

ては、

- i' . 自分自身が関心を持っていることについて英語を用いて取り組んでみる
- ii' . 日々の出来事(新聞の記事など)に対して自分の考えを文章に書く癖をつける
- iii' . 自分から積極的に話しかけていく、またそういう機会があったら積極的に関わっていく

ということが挙げられた。

特に、話し合いを進めていく中でも英語力については本当に必要になるという立場におかれないとなかなか本腰を入れて学べないという意見が出た。しかし、そのままやらずに過ごしてきては、卒業論文を書く際にいきなり英語の論文を読む機会が出てきた時に苦勞する場面が生じることも少なくないということから、自分の興味関心があること(それが卒業論文の内容と関係のあるものであれば特に)を英語で勉強してみると、取り組みやすいのではないかとということだった。

今回、FD 合宿に参加させていただき、勉強になる部分が多々あった。中でも、同じテーマでも学年や学類によって話す内容というものに大きな違いがあったことは驚いた。自分たちの班では話し合いに出されなかったものを聞くと大変参考になったし、自分だったらそのことについてはどのように考えるか、という考えるきっかけづくりにもなった。

4年という大学生活最後の年ではなく、1～3年の時に参加すればもう少し違った捕らえ方というものもできたのかもしれないが、4年生という立場からの意見というものをきちんと出すことができ、それが今後に活かせるということであれば、参加したことで何らかのお役に立てたのではないかと思う。

こうした取り組みを周囲に教えることが重要であり、友人や先生、後輩にも広めていきたいと思う。

[感想]

人間発達文化研究科2年 馬場 彩果

まず第1セッションでは、高校と大学の学びの違いを考えて、大学における学びとは何かを議論した。私たち2班の中で最も多く挙げられたのは、大学の学びは学生の主体性・積極性が問われるという点であった。また、ほとんどの班員が大教室での授業やノートのとり方、レポート作成など、大学ならではの学びに困惑や苦勞をしたという経験をもっていることも明らかとなった。次に、教職員の考え方もふまえながらこれらの問題の詳細や要因、解決方法などをさらに深く話し合った。議題の中心はレポート作成についてで、自分の意見と文献内容との区別、また考察と感想との区別が曖昧になってしまうとか、語彙力不足といった悩みを抱えていることがわかった。私は上級生として有意義なアドバイスがあまりできなかったのだが、大学においてはレポート作成についての講座の開設や、教員による添削・レポート返却時の助言などがあってほしいと考えた。

そして第2セッションでは、大学に必要なスタディ・スキルについてKJ法を用いて考え

た。短い時間内でも、各班員が多数のスキルを書き出すことができた。これらをグルーピングし、スキルごとに特に必要とされる学年に分け、発表に向けた準備をする作業には難しさもあったが、班員同士のコミュニケーションが徐々に深まり、よりよい発表づくりへの士気も高まってきたため、全セッションの中で最も活発で充実した取り組みが行えた。作成した図も第3セッションでの発表も高い完成度となり、満足している。

この合宿を通し、参加者（特に学類の1、2年生）は、4年間の目標や残りの学生生活の過ごし方などが明確に見えてきたであろう。私の院生生活はあと僅かであるが、入学の動機や修了後の目標などを今一度振り返り、時間を最大限に活用しながら研究に励みたい。

(FD合宿の意義)

人間発達文化学類2年 平 紘幸

今回私は初めてFD合宿に参加した。教授や他の学生さんとの話し合いから、これからの大学の「学び」を考えていくという有意義な企画だ。結論という結論は出ない。しかし少ない時間ながらも話し合った軌跡や、それがもつ意味は計り知れないものだと思っている。今回のキーワードは「コミュニケーション」だった。社会、または大学生に求められるコミュニケーション能力の種類や内容、それがもつ意味を考えた。私は将来小学校教師を志望しており、ぜひ様々な意見を聞きたかった。KJ法で挙げたコミュニケーションの種類は、期待通り様々だった。いくつか挙げると、会話、ジェスチャー、空気の読み方、相互理解、異文化理解などだ。これらはできるだけ全部身に付けていけばいいに違いない。むしろ、この中で大事ではないことはない。しかし、あまりにこれに反応しすぎるのもいけない。例えば空気を読もう、読もうと必死に考えると周りに遅れをとってしまう。

では、私たちは何が期待されているのだろうか。結論はうまく出なかったが、後に考えた結論の一つに私は「要求力」を挙げる。他人に要求するのではない。自分に要求する力が私たちには必要なのだ。例えば授業後の質問。このときコミュニケーション能力を必要とされているのは教授側だろうか、それとも学生側だろうか。私はどちらも必要だと考える。教授側は、質問を受け付けるという意味を示すとともに、自らの授業にそういった時間や雰囲気を出す努力をしなければならない。学生側はより良い学びを得るために、雰囲気や常識に悩まずに、自らの殻を破ることを要求しないといけない。

この2日間、私にとって何より画期的なのは、「教授が考える、望ましい学生のあり方」が聞けることだ。普段は「教授」と「学生」の間にある大きな壁を感じ、授業の質問すら聞きにくいように思っていた。しかしこの企画では、一つのテーマを一緒に考え、時にそれぞれの立場から意見を述べることができる。そこから理解が深まりさらに活発な意見交換が生まれる。「教える→受ける」といった普段の一方的な授業ではない。私たちの受け身感がない、さらなる「学び」の門戸を開くことができる。

最後に考える。学生の本音、教授の理想像をぶつけて出た考えや理解はとても有意義だった。だからこそ、この経験や感覚を様々な人に伝えていく必要がある。私たちだけが知って満足して終わる、では意味がない。授業の向上、そして何よりより良い学びのために、今回

参加した私たちはこういったことを伝えていく義務がある。

人間発達文化学類1年(留学生) Ng Lay Sion

今回の合宿を通して自分は将来の目標を達成するために必要とされる条件やコミュニケーションの大切さを分かるようになりました。大学四年間の生活で資格を取り、さらに自分のコミュニケーションスキルもアップしたいと思います。

人間発達文化学類1年(留学生) 宋 理莉

うちのグループはコミュニケーションについて話し合いました。その話し合いの中で、どの職業でも コミュニケーション能力と人間関係が必要だということ. だから 大学で勉強することだけじゃなくて、ほかの能力を身に付けることも重要だと思う。

人間発達文化学類1年 稲見 尚

(第一セッション)

大学に入学して思った高校との違いについて、先ず私たちは話しあった。最初にあげられたのは授業時間の違い。高校までは50分授業だったのに対し、大学の講義は90分と、ほぼ二倍になった。私もそれには戸惑った。みんなもそれが最初の戸惑いであったと話す。でも私は、元々勉強するのが好きな方で、講義内容が面白く興味をひかれるようなものであれば、さほど苦にはならなかった。

それよりも私が気になったのは、先生と生徒との距離だった。L 教室での授業などでは、先生との関係が希薄になっている気がする。その希薄さのせいか、生徒の緊張感がなくなり、授業中の私語がなかなかなくなる原因の一因になっている気がする。

(第二セッション)

求めるスタディースキルと、求められているスタディースキルとの差異とは何なのか。

先のセッションの内容と少し被るが、私はレポートの書き方、つまり文章の書き方と言うものがよくわからなかった。だが先生は何ともなしにレポートを書いてくるように言う。きっと先生は、私たちが義務教育中に習ったのだから問題ないと思っているのだろう。しかし義務教育中にそれを習ったとしても、それを伸ばす機会を、私たちは与えられては来なかった。必要な場面と言えば、推薦入試の願書くらい。しかしそれは少数の人たちに与えられた機会でしかなく、多くの人は、いつの間にか、それを忘れていく。なので、「書く力」を伸ばす機会を、私は大学に期待したい。

また、全ての班がそうであったように、私たちの班でもコミュニケーションスキルが取り上げられた。多くの企業が求めているそれは、私たち学生も、身につけなければいけないものだ、心の中では自覚しているようだった。そこで私たちの班は、一口にコミュニケーションスキルと言っても中身は様々多様化しているので、それを細部化して考えることにした。「問題を解決する力」「ユーモア力」「自分の思いを伝える力」そして私たちは、それをさら

に昇華し、私たちのなりたい職業現場で求められるコミュニケーションスキルに発展させた。
(第三セッション)

小学校の先生になりたい人、ツアーコンダクター、幼稚園の先生。人の思い描く夢の形は様々だ。その中でも私たちは、コミュニケーションスキルの大切さについて、自分のなりたい現場は、一体何を求めているのか、私たちは、何を求められているのか、案を出していく中で少しずつ身をもって思い知って行く。人と密接にかかわる仕事を夢に抱く私たちは、人一倍、コミュニケーションスキルと言うものを身につけなくてはならなくなった。

最終的にたどり着いたのは、大学への要望などではなく、絶望的なほど膨大な数のポストイットの山だった。私たちの思い描く将来と今の私たちとは、圧倒的なほどの差が、壁があった。

人と関わる機会、自分を表現できる機会、それを私は、強く望みます。

そこから見出せるであろう自分自身の本当の力、それこそが本当の「スキル」なのだと思います。

あまり多くはありませんでしたが、留学生や、他学類、先生と話をする機会が持てたことは、自分にとってとてもプラスになりました。スタディースキルを考える時など、自分の考えていることよりももっと先の事を視野にとらえている上級生の皆さんの考え、文化の違いを感じた留学生の皆さんの考えなどは、とても興味深いものでした。こうして話をしていると、私は昔の事を思い出して行きました。それは私がまだ、この大学に入学したばかりの頃です。

その頃の私は、友だちと言うものがいませんでした。県外の大学で一人暮らし、それに同じ高校からここに来た人はほとんどおらず、いたとしても他の学類で、会う機会はありませんでした。そんな私は、入学式前、新入生歓迎会に主席しました。それはもう、わらをもすがらのような思いです。何としても友だちを作らなくては、そんな思いでした。

会が終わっても、私は結局、誰とも話せるようにはなっていませんでした。みんながメールアドレスを交換している中、私は勇気を持ってそこに進んでいく事ができませんでした。そんな時、私の隣の席で、私と同じように、何もできず、ただおろおろとしている人を見つけました。私は勇気を振り絞って、その人と話をしました。向こうも快くそれを受け入れてくれました。

新学期が始まって、私は積極的に、出会いの場を探して行きました。サークルに入り、学類の執行委員に参加し、時には思いもしなかった事故に会い、でもそれをチャンスに変えて。たった一人で始まった私の新生活は、いつの間にか、たくさんの人に包まれていました。

来年、この文章を手にしたあなたに伝えたい。ここでの出会いを、大切にしてほしい。そしてこれからも、出会い続けてほしい。来年きっと、私は人間発達文化学類の、執行委員長になっています。それはとても、とても大きな責任を伴う事です。でも、たくさんの出会いが、私を強くしてくれました。ダメなときには、頑張れと背中を押してくれました。だからあなたにも、そういう出会いをしてほしい。そういう仲間を見つけしてほしい。

人間発達文化学類1年 鈴木 亜弥

私はこのFD合宿に参加してみて、予想以上に楽しいものだと感じました。今まで、大学の教員の方、職員の方と話をする機会はほとんどなく、今回は堅苦しい話をずっとするのかと思っていました。しかし、実際は堅苦しいことはなく、教員の方や他の学生の方が、どう感じているのかなどを知ることの出来る場になりました。

それぞれの班に分かれ、高校と大学での違いや、大学4年間で身につけるべきスキルなど、自分一人では思いつくことのできなかつたことを話し合うことが出来たし、大学に入学してから不安に感じていたことも、他の人も感じていたことはあったのだと安心出来て、私にとって有意義な時間になりました。私たちの班では、大学で必要なスタディスキルとして、『セルフマネジメント』を最終的に身につけるという結論がでました。そのために、どの段階までにどんな能力を身につけておけばよいのか、ある程度の見通しをたてました。自分だけだと、このように見通しをたてることはしなかつたと思います。そのなかで、コミュニケーション能力と自主的に行動する能力は、4年間継続で必要なスキルであり、卒業してからも必要なスキルという話が出ました。私は今まで、自分から何かをしたり人前で話したりするのが苦手でした。しかし、今回話し合っ、もっと自分から積極的にいろいろなことに参加しようという気持ちになりました。周りの人の意見も取り入れつつ自分の考えも整理することが出来たので、自分の駄目なところを少しづつなおしていこうと思います。また、それぞれの班でまとめの方法も異なっていて、発表を聞くのが楽しかったです。

FD合宿に参加したことにより、これからの大学生活で、何を身につけるべきか具体的に考えることが出来、本当によかつたと思います。教員の方や職員の方、学年の違うかたなど、さまざまな人の意見を聞くことが出来、参考になりました。FD合宿で学んだことをこれからの大学生活に活かしていきたいです。

人間発達文化学類1年 松井 隼

4年間というのは短いもので、その間に今回の合宿で挙げられたようなスキルを身につけるといのは、どうにも雲を掴むような話であるように感じられたところではありますが、しかしだからといってそれらを放棄することもかなわないため、そう考えるとこの合宿で自分に身につけていないスキルを自覚できたことは非常に良かつたのではないかと思います。ですが、今回の合宿には意味があつた、で終わらせるのではなく、今回の合宿の意味を為した行動を取らなければならないとなると、これまた困難な話ではありますが、その反動としてやる気も湧いてくるというものです。今回のような同じ立場、違う立場同士の喧々囂々ともではいかないまでも話し合いといのは、お互いを認識することにとても価値があり、また私は個人的に、違う立場との交流といのはお互いが分かり合い一つのものとなることに意味があるのではなく、その決定的で徹底的な違いにこそ意味があるのだと感じました。

未熟者の私にとって今回の合宿はとても身に沁みるものがありました。それを自分の中で如何に熟成していくかが私の4年間の一つの課題である、という指針も曖昧ながら形成され

たような気もします。今回の合宿が私のみならず多くの人に良き恩恵をもたらすことを心より願っております。

人間発達文化学類1年 糠澤 摩美

私は、大学で勉強する上で何か役立つ経験ができるのではないかと思います、今回このFD合宿研修会に参加しました。

一日目の第一セッションでの話し合いで、学生からだけではなく先生方からも「授業はもっと短いほうがいいのではないか」という意見が出て、印象的でした。私自身、学生の立場で考えると、90分だと途中で集中力が切れてしまいあまり効率がよいと思わなかったのですが、先生方も同じような考えを持っていらっしゃったということを知り、驚きました。第二セッションでは実際にKJ法を用いて意見を出し合い活動を行えたのでいい経験をしたと思います。

今回のFD合宿研修会を通して、大学と高校の違いについて意見交換したり大学での学びを通して身に付けるべきスキルを挙げたりすることができました。ディスカッションを通じて、高校と大学の大きな違いは、将来の選択肢が多岐にわたることだと気づきました。選択肢が多い分、目標を絞り込むには時間がかかり、毎日をなんとなく過ごしてしまいがちです。しかし一つ一つの授業の中で、授業の聞き方、ノートのとおり方、まとめ方を自分なりに工夫し、学びを充実させていくことを小さな目標として積み上げていくことで、将来必要なスキルを身につけていけるのではないかと考えました。また、先生方、先輩方と交流したことはとてもよい経験になりました。一年生のこの時期に参加できてよかったです。今回の経験を生かして、今後の大学生活を実りあるものにしていきたいと思います。

経済経営学類1年 加藤 美喜子

今回のFD宿泊研修では日頃話を聞く機会が少ない教員や職員、他学類の学生の意見を聞くことができ、貴重な時間を過ごすことができました。二日間の日程の中で自分は将来どのような道に進みたいのか、またそのために大学の4年間でどのような事に取り組み、どのようなスキルを身につけるべきなのかがはっきりしました。

第1セッションでは高校と大学の学びの違いについて、1年生の私たちが半年間大学で過ごしてみて気がついたことを話し合いました。このセッションでは学類ごとに新入生のサポート体制に違いがあることが分かりました。経済経営学類では他学類のシニター・オリターのようなシステムがないため、もっと気軽に新入生の悩みにアドバイスをしてくれる存在が必要だと思います。来年度には他学類の良いところを取り入れ、新入生をしっかりサポートする仕組みを作っていきたいです。

第2セッションでは大学で必要なスタディ・スキルとは何か話し合い、そのスキルを身につけるために今具体的にすべきことは何か考えました。学類や学年ごとに必要なスキルは変わっていきます。1年生の私たちが考えた必要なスキルと、先輩方が考えるものは、やはり

違います。その点で先輩方の意見はとても参考になりました。様々な意見があった中でも、コミュニケーション能力は全ての人に共通して必要です。日々の生活の中で積極的に行動することでコミュニケーション能力は身についていくのではないかと思います。

この2日間の宿泊研修では、大学生生活の過ごし方や授業の受け方を見直すだけでなく、多くの参加者と親睦を深めることが出来ました。今回学んだことを今後の授業に活かし、有意義な大学生生活を送りたいです。

経済経営学類1年 竹内 亨

FD合宿での2日間で、私は様々なことを学びました。

第1セッションでは、おもに「高校と大学の学びの違い」について話し合いました。私たちの班の学生は、全員経済経営学類の1年生でした。高校と大学の違いについて、大学では「授業でわからないところがあっても、先生に質問をしに行きにくい」ということや、「自分の希望通りの授業が受けられないことがある」といった違いについて話し合われました。ほかにも、先生方からは「学類ごとの学びの仕組みの違いについて」もお話をいただき、自分が所属する学類以外のことを知れて勉強になりました。

第2セッションでは「大学に必要なスタディスキル」について話し合いました。私たちの班では先生方のアドバイスのもとで、自分たちの将来の目標を考えてから、今やるべきことを探っていました。こうすることで自分の将来の目標が再確認でき、大学1年生でやらなければならない学習や行動が明確になり、非常にためになりました。それから、すべての班で挙げられていた「大学に必要なスタディスキル」として「コミュニケーション能力」があり、私もこの力は就職・留学をはじめ日常生活でも非常に大切なものだと思います、今後の大学生活の課題としてクリアしていきたいです。

高校と比べ、先生と学生の交流が希薄になりがちな大学生活の中で、こういった話し合いの場を設けることは大切なことだと思います。それから、今よりもっと多くの学生がこの合宿に参加し、「学び」について学んでみてほしいと思いました。

共生システム理工学類4年 吉澤 俊哉

今回行われたFD合宿では4年生は二人しかおらず、僅かに肩身の狭い思いをしました。しかし、セッションを通して他学年の意見を聞くことによって学年ごとに一つの議題でも見ていること、考えていることが違うことに気づかされました。

FD合宿に参加した学生は大半が1年生でしたが意見を聞くと大学に入学したばかりであり新たな生活に適応することがとても大変そうに感じられ、大学生活での長期的な見通しを立てるのが難しいようでした。討論の場では全く思いつかなかったのですが、自身の過去を振り返ってもやはり大学生活に適応しようとしつつも初めての環境に流される場面が多かったと感じました。また、私たち4年生の意見は大学生活の中で何かを成しえるよりも大学で学んだことを社会にどう生かすか、社会に出て活躍するためにはどのようなことを大学で身

につければいいか、というような傾向が見られました。4年間の大学生活や就職活動の経験からこのような意見が導き出されたのだと思います。他の学年の意見を聞き、私たちはやや偏った意見を出してしまったと反省する反面、セッションにも大学生活で身に着けるべき必要なスキルについてと言う議題がありましたが、大学では個人の能力を高めるために様々なことを学び知識を豊かにすることと、大学を出て社会に適応するための実践的な学びの二種類をカバーしていかなければならないのだと思いました。

1、2年生の意見はどれも新鮮で、2～3年前とはいえ様々なことを思い出させていただきました。やはり学年ごとに見ているものが違い、学年それぞれに違った補助をする必要があるのだと思います。3、4年生に関しては大学生活にも慣れ、勉強に関してもゼミや研究室などそれぞれが選んだ分野を集中的にこなすようになります。しかし、入学したばかりでは教育方針からも様々な授業を受けなければならず、人によっては入学前に勉強したかった分野から遠ざけられ様々なギャップを感じるかもしれません。したがって、入学したばかりの学生をうまく補助することが大学生活を有意義に過ごし社会に出ても生きていけるようになるために重要であり、自分が必要とすることを見つけられるように上手く導き、上級生はその経験から足りなかったことや、学んでいて良かったことを伝えるなど知識を循環させ、しかし親切になりすぎずに個人として活動できるよう成長できる場が必要だと感じました。

FD 合宿の最初のテーマ、高校と大学の学びの違いから考えた事

共生システム理工学類 難波 謙二

共生システム理工学類からは 2 名の参加があった。事前申し込みでは、4 年生 3 名 1 年生 2 名が参加予定だった。ここ 2、3 日に急激に涼しくなったためだろうか風邪ぎみになって参加できなくなった人があった。結局 4 年生の 2 名の理工学類学生が参加した。

最初のセッションでは高校と大学の学びの違いについて、同じ学類の学生と教員からなる班毎に話合われた。FD とは直接関係しないような内容も話合う機会になった。

班の 4 年生からは、次のような話があった。1 年生で最初に出会う大学の異質さは「レポート」である。これに象徴されることだが、高校と違って大学では何をしてよいか分からないという戸惑いが 1 年生のときにはあった。高校までは、受験する大学が決まれば、それに向けた目標が決まるのに対して、大学では目標を設定しづらい。

この点は 4 年生の 2 人が共通して経験したことのようだったが、さらに 4 年生になった現在から当時を振り返ると、1-2 年生では広く学んでおくのがよいと言えるという。広く学んで、自分が苦手な部分にもふれ、知らない分野にも接していくことを 1-2 年生には勧めたい。就職した後を考えると専門以外の知識も必要になって来る。与えられたカリキュラムや課題をこなして行ってよかった、というのが 4 年 2 人の結論のようだ。なお、この 2 人の 4 年生は 2 人とも公務員試験に合格していて就職が決まっている。

高校での目標設定と同様に、就職を当面の目標としていまやるべき事を考えるということもできるかもしれない。他のグループの発表を含めると、コミュニケーション能力、課題探求心、問題探求と解決力、セルフマネイジメント、異文化理解、情報収集分析力、など様々な大学で身に付けるべき能力がキーワードで提示された。これらを備えれば企業が求める即戦力を持った学生像だ。就職にも役立つことがらだろう。私見を述べさせて頂くなら、これらについて、理工の 4 年生が指摘したように、1-2 年生で幅広く学ぶ事、が確かに大事なのだろうと思う。その過程で就職に必要な程度にこれらを身につけることもできるだろう。さらに学べば、世の中には分からないことがまだまだあるということも見えてくる。教員の立場としては、安易な答えのない世界を深く探求したい人にはそのような環境を用意したいと思う。不確実な未来にはそういう人材が多くの人のために役立つのではないかとと思われる。

本年度FD宿泊研修会のまとめと課題

FDプロジェクト責任者 板橋孝幸

本年度のFD宿泊研修会は、「大学での『学び』って何？～スタディ・スキルについて考える～」を全体テーマとして、教員・職員・学生の三者で話し合う場としました。全体としては、高校と大学の授業の違いにおける必要なスタディ・スキルについて考え、4年間の学びをどのように構想するか、身につけるべき「力」(スキル)について整理するワークショップを中心に行いました。積極的な話し合いが行われて、予定時間を越えて熱心に発表準備がなされるなど、大変充実した研修会となりました。FD宿泊研修会のスケジュールや取り組んだ内容については、他ページに報告があると思いますので、ここでは来年度以降のために主催者の観点からいくつか残った課題を中心にまとめてみたいと思います。

事前準備に関する課題としては、学生への呼びかけ方法とセミナーの内容づくりがあげられます。学生への呼びかけについては、昨年度よりも広く行いましたが、十分な周知ができたとはいえませんでした。学内にポスターを貼る、生協でアルバイトをしている学生の給与袋に案内を入れてもらう、授業においてアナウンスする、などの方法を取りました。しかし、実際に効果があったのは、昨年度と同様、学生自治会に対する要請や教員の個別の声かけによる方法でした。今後は、上記のような方法を駆使しつつ、より広く学生に知らせる仕組みが必要と思われます。また、教員の参加もFDプロジェクト委員、学長、副学長が中心でした。新任教員の参加を促すなどの工夫も必要と感じました。職員についても、積極的に参加してもらえそうな仕組みがあってもよいと思います。セミナーの内容づくりについては、時間的に会議をなかなか行えなかったこともあり、FDプロジェクトの責任者がほとんど作るようになってしまいました。もう少し、FDプロジェクトのメンバーで検討をする時間を確保することが必要と思われます。

セミナー当日の課題としては、学生のキャンセルが多かったこと、事前の課題がセミナーにうまく生かせなかったことなどがあげられます。今年度は、セミナー当日における学生のキャンセルが多くありました。昨年度と比べて、学生との事前打ち合わせ回数が少なかったことも要因かもしれませんが、学生自身が問題意識を持って参加してくれるようにすることが必要と思われます。事前に宿題として出したポートフォリオの作成意図が、十分に伝わらなかった(セミナー中にあまり取り上げられなかった)ことも課題です。今年度はセミナーのテーマから、学類別に分けてグループワークを行いました。しかし、最初の課題整理の話し合い(第一セッション)では、なるべく多様な意見が聞けるよう所属学類を分けない方がよいとの意見も学生から出されました。また、県内FDコンソーシアムと関わって、他大学の学生・教職員にも参加してもらえそうな仕組みを作っていくことを考えてもよいと思われます。今年度は他大学にポスターを送り、一部教員には個別に依頼をしましたが、参加はありませんでした。今後、こうした学生参加型FDを推進し、学生を声を組み入れながら本学の教育改善が展開されることを期待します。



各学類のFD活動

学類ごとの取り組み

2010年度 各学類におけるFDの取り組み

【人間発達文化学類】

- ①学習ポートフォリオについての出張調査（学類将来計画検討委員会）
- ②学習ポートフォリオ使用状況調査（教育課程委員会）
- ③1年生から4年生の学習・生活アンケート調査
（教育課程、学生生活、学類将来計画検討の3委員会合同）
- ④学類1年生入学動機アンケート（学生生活、学類将来計画検討の2委員会合同）
- ⑤人間発達文化研究科新入生の教育・学習状況調査（教育課程委員会）
- ⑥人間発達文化研究科研究発表状況および学業の成果についての調査（教育課程委員会）
- ⑦教養演習・基礎演習担当教員報告・交流会の実施（教育課程委員会）
- ⑧次年度オリエンテーションクラスアドバイザーおよび学習クラスアドバイザー対象説明会の実施（教育課程委員会）
- ⑨授業公開及び検討会（教育課程委員会）
実施日：2010年7月14日（水）2限
授業提供者：内山登紀夫教授
授業科目：「心理学I02」（広域選択科目「人間と文化」分野）
- ⑩大型プリンター講習会の実施（教育課程委員会）
実施日：2010年10月27日（水）
講師：安田俊広准教授

【行政政策学類】

- 1.学類において
 - ①教養演習、専攻入門科目、専門演習担当者向けアンケートを実施、集計結果にもとづいて懇談会を実施し、改善すべき点を確認する。
 - ②卒業生を対象とした「卒業時アンケート調査」の実施。
 - ③授業公開と検討会
2010年度の実施状況：
 - 2010/12/16（木）4・6限、「法律討論会」（担当：中井勝己教授）
 - 2010/12/20（月）4限、「現代政治論」（担当：中川伸二教授）
- 2.地域政策科学研究科において
 - ①新入生に対するアンケート調査の実施
 - ②院生協議会主催による修士論文の中間報告会の実施
 - ③修了生との懇談会
 - ④修了生に対するアンケート調査の実施、

【経済経営学類】

学類制移行後、リテラシー科目について2年生に対して第4セメスター時に、また、学類教育全般について卒業する学生に対して学類独自のアンケートを実施して集計し、専攻または講座ごとにそれぞれ所属する教員が集合して、アンケート結果を検討する会議を年度末に行っている。本年度は3月18日に同会議を開催する予定である。この

アンケート結果とそれを検討した文書、及び関連会議の結果を「経済経営学類専門領域カリキュラムに関する日常的自己評価報告書」にまとめている。授業公開は、井上健先生担当「経済情報の処理C」（12月10日1限目）について実施した。

【共生システム理工学類】

1. オムニバス形式の授業での取り組み

理工学類の一人の教員が一回ずつ担当する専攻単位で行なわれているオムニバス形式の授業では、担当教員が授業を行うたびに全担当教員宛メールで報告を行なうことが慣例となっている。ここでは、授業内容や授業の進め方のほか、学生の様子や授業中の反応などが報告されている。授業内容の守備範囲を確認する事はもちろん、他の教員の授業の進め方や授業中の学生の様子や反応も参考になる事が多い。学生の様子や反応は必修か選択かなど授業の位置づけによっても変わるのはある程度予想できる。学生の入学年の違いによる変化は、現実に目の前にするまで分らないので、先に担当した教員からの報告がその後の別の教員の授業の進め方に反映されるという利点がある。

2. 実験授業におけるミーティング

また、新カリキュラムでは専攻をこえて多くの教員が分担で担当する学類全員必修の実験授業が始まっており、今年度で2年目を迎えた。この授業の立ち上げ時には内容に関して意見交換の場面があり、実施中にも、実験授業の進め方に関して、話し合う機会がある。このような話し合いでは、この実験授業に関してのみならず、他の授業とこの実験授業との関連で、他の授業についても言及される。授業内容に関することがらを話し合う事が多いが、授業の進め方などFDに関する事も情報交換が行なわれる場になっている。

実は今年度の授業公開をこのような多くの教員が参加する実験授業で行なえないか画策した。しかしながら、実験における安全確保などの問題や、授業時間が通常の2コマ分になること、もともと授業公開は講義形式が想定されており、学生が作業を行なっている時間が長い実験授業にはなじまないと考えられること、などの理由と、FD担当の力量不足とがあいまって実現しなかった。しかしながら、公開はしないまでも、本来的に、少なくとも関係者の間ではFDの場として機能している。

このように理工学類では意図的にFDを銘打っているわけではないが、オムニバス形式の講義など多くの教員が担当する形式の授業が、自然発生的にFDの場となっている。これは、もともと教員のFDについての意識が潜在的に高いために、その高い意識とさらに行動力とを併せ持つ教員の影響が波及しやすいためと思われる。

3. 大学院におけるアンケート調査

大学院の授業に関するアンケート調査を行った。調査用紙の質問項目などに関しては、学類の授業アンケートに用いられているものを活用した。調査用紙配布に関しては、大学院研究科の中で、大学院の授業科目を担当している教員に対し、電子メールの添付ファイルで用紙を送信し、各教員が担当している科目を受講している人数分ほど印刷してもらい、大学院生に手渡してもらうという形をとった。回収方法は、S棟二階の教務グループ前に回収のボックスを設け、そこに、大学院生が直接、持参し投函する方法をとった。







「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成22年7月実施
教育改善のための
学生アンケート
前期開講科目実施状況

平成22年度前期 教育改善のための学生アンケート実施状況（分類毎）

共通領域・共通教育科目

分野	科目	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考		
			対象数	実施数	実施率	受講者数 （延べ）	回答者数 （延べ）	回答率	受講者数 （延べ）	回答者数 （延べ）	回答率	1桁・受講者	1桁・回答者	
キャリア創造科目	キャリア形成論	7	7	7	100.0%	1035	966	93.3%	1035	966	93.3%	無し		
	キャリアモデル学習	6	6	4	66.7%	975	584	59.9%	972	584	60.1%	1科目3名	0科目	
総合科目		4	4	3	75.0%	622	239	38.4%	622	239	38.4%	無し		
広域選択科目	人間と文化	7	7	6	85.7%	985	616	62.5%	985	616	62.5%	無し		
	社会と歴史	6	6	5	83.3%	565	367	65.0%	565	367	65.0%	無し		
	自然と技術	6	6	5	83.3%	780	514	65.9%	780	514	65.9%	無し		
情報教育科目		8	8	7	87.5%	678	531	78.3%	678	531	78.3%	無し		
健康・運動科目	健康・運動科学実習	21	21	21	100.0%	952	890	93.5%	952	890	93.5%	無し		
	スポーツ実習	10	10	10	100.0%	162	121	74.7%	147	106	72.1%	4科目15名	4科目15名	
英語	英語AⅠ・AⅡ	40	40	34	85.0%	1,931	1,536	79.5%	1,931	1,536	79.5%	無し		
	英語BⅠ・BⅡ	44	44	36	81.8%	1,869	1,330	71.2%	1,847	1,313	71.1%	5科目22名	4科目17名	
	英語Ⅰ	2	2	2	100.0%	39	34	87.2%	30	26	0.0%	1科目9名	1科目8名	
	英語Ⅱ	1	1	1	100.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	1科目1名	1科目1名	
	英語Ⅲ	1	1	1	100.0%	58	43	74.1%	58	43	74.1%	無し		
	英語Ⅳ	1	1	1	100.0%	5	4	80.0%	0	0	0.0%	1科目5名	1科目4名	
	英語Ⅴ	1	1	1	100.0%	12	7	58.3%	12	7	0.0%	無し		
非英外国語	ドイツ語	16	16	16	100.0%	499	463	92.8%	482	448	92.9%	3科目17名	3科目15名	
	フランス語	15	15	14	93.3%	322	289	89.8%	290	266	91.7%	5科目32名	4科目23名	
	中国語	21	21	20	95.2%	775	732	94.5%	767	732	95.4%	1科目8名	0科目	
	ロシア語	5	5	5	100.0%	103	99	96.1%	99	95	96.0%	1科目4名	1科目4名	
	スペイン語	3	3	2	66.7%	51	42	82.4%	43	38	88.4%	2科目8名	1科目4名	
	日本語	日本語	2	2	2	100.0%	51	46	90.2%	51	46	90.2%	無し	
		日本語事情Ⅰ	1	1	1	100.0%	36	29	80.6%	36	29	80.6%	無し	
計		228	228	204	89.5%	12,506	9,483	75.8%	12,382	9,392	75.9%	25科目124名	20科目91名	

健康・運動科目、英語については科目群で集計。日本語、スペイン語、ロシア語は担当者が特定されるため集計しない。

4学類専門教育科目

学類	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
		対象数	実施数	実施率	受講者数 （延べ）	回答者数 （延べ）	回答率	受講者数 （延べ）	回答者数 （延べ）	回答率	1桁・受講者	1桁・回答者
人間発達文化学類・教育学部専門科目	190	190	147	77.4%	8,415	5,620	66.8%	8,415	5,620	66.8%	無し	
行政政策学類・行政社会学部専門科目	36	36	26	72.2%	4,555	1,980	43.5%	4,541	1,967	43.3%	3科目14名	3科目13名
経済経営学類・経済学部専門科目	48	48	44	91.7%	5,601	3,090	55.2%	5,584	3,081	55.2%	3科目17名	2科目9名
共生システム理工学類専門科目	94	94	76	80.9%	5,030	3,192	63.5%	4,935	3,122	63.3%	17科目95名	14科目70名
現代教養コース	36	36	31	86.1%	1,739	1,166	67.1%	1,721	1,148	66.7%	2科目18名	2科目18名
計	404	404	324	80.2%	25,340	15,048	59.4%	25,196	14,938	59.3%	25科目144名	21科目110名

教育改善のための学生アンケート

2010年7月実施
福島大学FDプロジェクト

- ◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生のみなさんにご協力をいただいて実施するものです。
◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。
①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
③専門科目は学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

I. (1) 学籍番号の最初の5桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです)。

(1)					
-----	--	--	--	--	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した 2. 2/3 以上出席した 3. 半分以上出席した 4. 出席は半分未満だった

(2)	
-----	--

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上 2. 2~3時間未満 3. 1~2時間未満
4. 30分~1時間未満 5. 30分未満

(3)	
-----	--

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(三つまで回答)。1-6のどれもしなかった人は7と一つだけ回答してください。

1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館等で文献を調べた 5. 友だちと話して理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もなかった

(4)			
-----	--	--	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント5~1のいずれかを記入してください。】

5: はい, 4: かなりそうだとと言える, 3: どちらとも言えない, 2: あまりそうとは言えない, 1: いいえ

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか(観点: 授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)。

(5)	(5 択式)	(理由)

(6) 教育の方法は適切でしたか(観点: 質問への対応, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)。

(6)	(5 択式)	(理由)

(7) 授業の内容は適切でしたか(観点: 魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度等)。

(7)	(5 択式)	(理由)

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

総合評価 (5 択式)	(8)

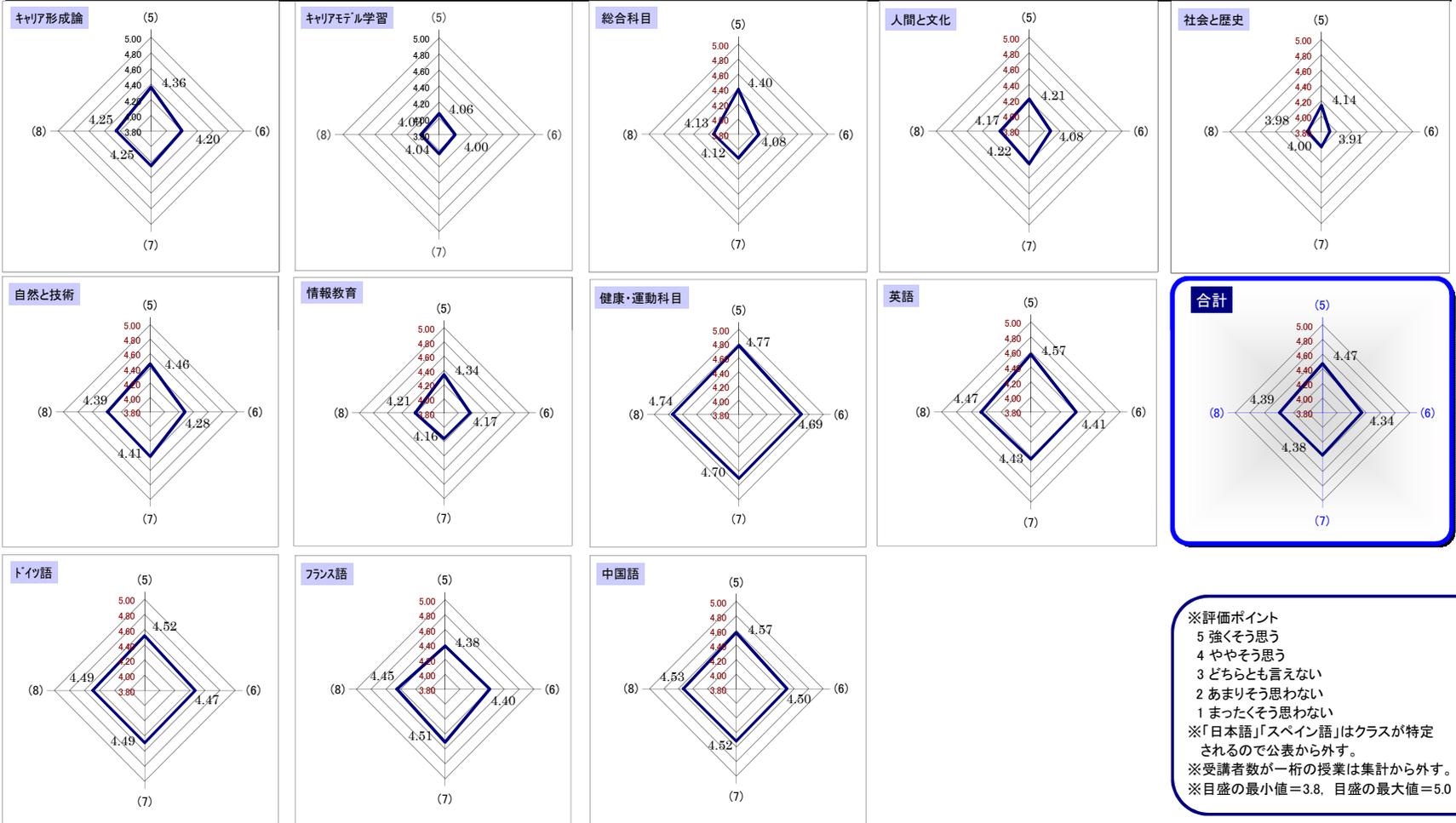


平成22年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (【前期】共通領域・共通教育科目)

科目群毎の学生アンケート実施率		キャリア形成論	キャリアモデル学習	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	7	6	4	7	6	6	8	31	90	16	15	21	5	3	3	228
	学生アンケート実施科目数(b)	7	4	3	6	5	5	7	31	76	16	14	20	5	2	3	204
人数	学生アンケート実施率(b/a:%)	100.0%	66.7%	75.0%	85.7%	83.3%	83.3%	87.5%	100%	84.4%	100%	93.3%	95.2%	100%	66.7%	100%	89.5%
	学生アンケート受講者数(c)	1035	972	622	985	565	780	678	1,099	3,878	482	290	767	99	43	87	12,382
	学生アンケート回答者数(d)	966	584	239	616	367	514	531	996	2,925	448	266	732	95	38	75	9,392
	学生アンケート回答率(d/c:%)	93.3%	60.1%	38.4%	62.5%	65.0%	65.9%	78.3%	90.6%	75.4%	92.9%	91.7%	95.4%	96.0%	88.4%	86.2%	75.9%

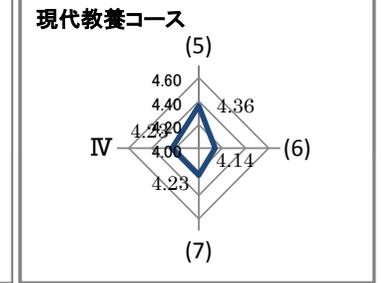
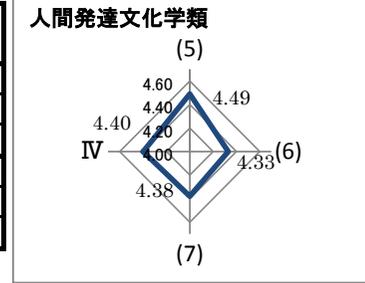
教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 (科目群毎)

	番号	設 問	キャリア形成論	キャリアモデル学習	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
当 担 教 員 官 担 及 び 総 合	(5)	教員の授業に対する姿勢はよかったですか	4.36	4.06	4.40	4.21	4.14	4.46	4.34	4.77	4.57	4.52	4.38	4.57				4.47
	(6)	教育の方法は適切でしたか	4.20	4.00	4.08	4.08	3.91	4.28	4.17	4.69	4.41	4.47	4.40	4.50				4.34
	(7)	授業の内容は適切でしたか	4.25	4.04	4.12	4.22	4.00	4.41	4.16	4.70	4.43	4.49	4.51	4.52				4.38
	(8)	総合的に見てこの授業に満足しましたか	4.25	4.03	4.13	4.17	3.98	4.39	4.21	4.74	4.47	4.49	4.45	4.53				4.39



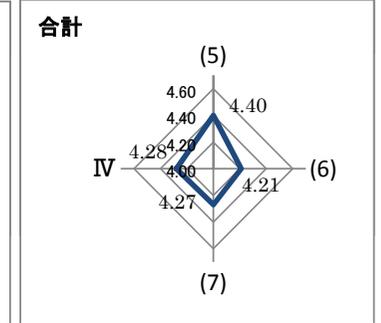
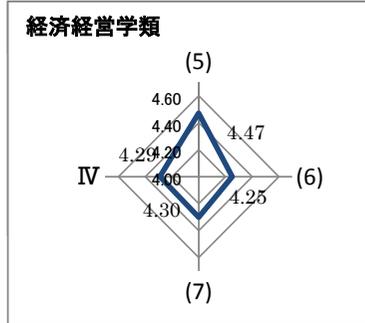
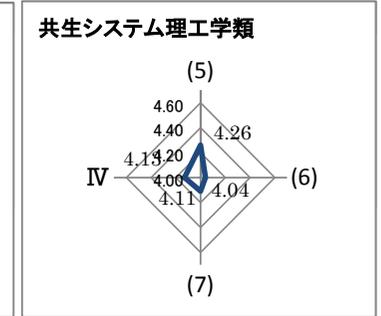
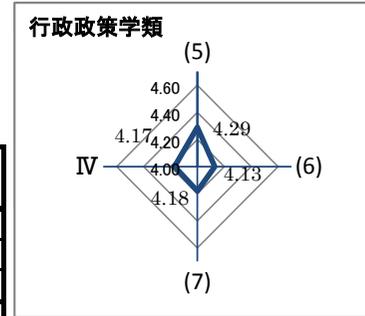
平成22年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況（【前期】専門教育科目）

学類毎の学生アンケート実施率		人間発達 文化学類	行政政策 学類	経済経営 学類	現代教養 コース	共生システム 理工学類	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	190	36	48	36	94	404
	学生アンケート実施科目数(b)	147	26	44	31	76	324
	学生アンケート実施率(b/a: %)	77.4%	72.2%	91.7%	86.1%	80.9%	80.2%
人数	学生アンケート受講者数(c)	8,415	4,541	5,584	1,721	4,935	25,196
	学生アンケート回答者数(d)	5,620	1,967	3,081	1,148	3,122	14,938
	学生アンケート回答率(d/c: %)	66.8%	43.3%	55.2%	66.7%	63.3%	59.3%



教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値（学類毎）

学類毎の学生アンケート実施率		人間発達 文化学類	行政政策 学類	経済経営 学類	現代教養 コース	共生システム 理工学類	合計
授業 及 教 官	(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか	4.49	4.29	4.47	4.36	4.26	4.40
	(6) 教育の方法は適切でしたか	4.33	4.13	4.25	4.14	4.04	4.21
	(7) 教育の内容は適切でしたか	4.38	4.18	4.30	4.23	4.11	4.27
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.40	4.17	4.29	4.23	4.13	4.28



※評価ポイント
 5 はい
 4 かなりそうだとと言える
 3 どちらとも言えない
 2 あまりそうとは言えない
 1 いいえ
 ※受講者数が一桁の授業は集計から外す。

教育改善のための学生アンケート

学類		分野			
共通領域・共通教育		キャリア創造科目			
科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
キャリア形成論	-	-	1035	966	93.3%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	274名	28.4%	2. 行政政策学類	219名	22.7%
3. 経済経営学類	247名	25.6%	4. 現代教養コース	58名	6%
5. 共生システム理工学類	160名	16.6%	6. 教育学部	3名	0.3%
7. 行政社会学部	2名	0.2%	8. 経済学部	1名	0.1%
未 未記入・無効	2名	0.2%	合計	966名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	939名	97.2%
2. 2年	6名	0.6%
3. 3年	6名	0.6%
4. 4年	1名	0.1%
5. 5年以上	11名	1.1%
未 未記入・無効	3名	0.3%
合計	966名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	662名	68.5%
2. 2/3以上出席した	292名	30.2%
3. 半分以上出席した	9名	0.9%
4. 出席は半分未満だった	1名	0.1%
未 未記入・無効	2名	0.2%
合計	966名	99.8%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	18名	1.9%
2. 2~3時間未満	10名	1%
3. 1~2時間未満	39名	4%
4. 30分~1時間未満	107名	11.1%
5. 30分未満	789名	81.7%
未 未記入・無効	3名	0.3%
合計	966名	99.7%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	309名
2. インターネットで検索した	160名
3. 参考書を買って調べた	23名
4. 図書館で文献を調べた	45名
5. 友だちと話して理解するようにした	336名
6. 先生に質問した	33名
7. 何もしなかった	447名
未 未記入・無効	3名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	534名	55.3%
4. かなりそうだとと言える	271名	28.1%
3. どちらとも言えない	130名	13.5%
2. あまりそうとは言えない	18名	1.9%
1. いいえ	8名	0.8%
未 未記入・無効	5名	0.5%
合計	966名	99.5%

評価ポイント平均値 4.36

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	453名	46.9%
4. かなりそうだとと言える	293名	30.3%
3. どちらとも言えない	176名	18.2%
2. あまりそうとは言えない	29名	3%
1. いいえ	9名	0.9%
未 未記入・無効	6名	0.6%
合計	966名	99.4%

評価ポイント平均値 4.20

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	470名	48.7%
4. かなりそうだとと言える	308名	31.9%
3. どちらとも言えない	146名	15.1%
2. あまりそうとは言えない	27名	2.8%
1. いいえ	9名	0.9%
未 未記入・無効	6名	0.6%
合計	966名	99.4%

評価ポイント平均値 4.25

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	461名	47.7%
4. かなりそうだとと言える	324名	33.5%
3. どちらとも言えない	141名	14.6%
2. あまりそうとは言えない	24名	2.5%
1. いいえ	10名	1%
未 未記入・無効	6名	0.6%
合計	966名	99.4%

評価ポイント平均値 4.25

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	キャリア創造科目

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
キャリアモデル学習	-	-	972	584	60.1%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	254名	43.5%	2. 行政政策学類	0名	0%
3. 経済経営学類	169名	28.9%	4. 現代教養コース	0名	0%
5. 共生システム理工学類	158名	27.1%	6. 教育学部	0名	0%
7. 行政社会学部	1名	0.2%	8. 経済学部	1名	0.2%
未 未記入・無効	1名	0.2%	合計	584名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	0名	0%
2. 2年	559名	95.7%
3. 3年	19名	3.3%
4. 4年	2名	0.3%
5. 5年以上	3名	0.6%
未 未記入・無効	1名	0.2%
合計	584名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	410名	70.2%
2. 2/3以上出席した	164名	28.1%
3. 半分以上出席した	7名	1.2%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	3名	0.5%
合計	584名	99.5%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか

1. 3時間以上	14名	2.4%
2. 2~3時間未満	3名	0.5%
3. 1~2時間未満	10名	1.7%
4. 30分~1時間未満	30名	5.1%
5. 30分未満	526名	90.1%
未 未記入・無効	1名	0.2%
合計	584名	99.8%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	169名
2. インターネットで検索した	46名
3. 参考書を買って調べた	8名
4. 図書館で文献を調べた	12名
5. 友だちと話して理解するようにした	129名
6. 先生に質問した	9名
7. 何もなかった	348名
未 未記入・無効	3名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	232名	39.7%
4. かなりそうだとと言える	200名	34.2%
3. どちらとも言えない	114名	19.5%
2. あまりそうとは言えない	18名	3.1%
1. いいえ	16名	2.7%
未 未記入・無効	4名	0.7%
合計	584名	99.3%
評価ポイント平均値	4.06	

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	212名	36.3%
4. かなりそうだとと言える	206名	35.3%
3. どちらとも言えない	130名	22.3%
2. あまりそうとは言えない	15名	2.6%
1. いいえ	18名	3.1%
未 未記入・無効	3名	0.5%
合計	584名	99.5%
評価ポイント平均値	4.00	

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	228名	39%
4. かなりそうだとと言える	204名	34.9%
3. どちらとも言えない	113名	19.3%
2. あまりそうとは言えない	17名	2.9%
1. いいえ	19名	3.3%
未 未記入・無効	3名	0.5%
合計	584名	99.5%
評価ポイント平均値	4.04	

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	215名	36.8%
4. かなりそうだとと言える	219名	37.5%
3. どちらとも言えない	111名	19%
2. あまりそうとは言えない	16名	2.7%
1. いいえ	18名	3.1%
未 未記入・無効	5名	0.9%
合計	584名	99.1%
評価ポイント平均値	4.03	

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	総合科目

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	622	239	38.4%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	72名	30.1%	2. 行政政策学類	29名	12.1%
3. 経済経営学類	121名	50.6%	4. 現代教養コース	0名	0%
5. 共生システム理工学類	15名	6.3%	6. 教育学部	0名	0%
7. 行政社会学部	0名	0%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.8%	合計	239名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	202名	84.5%
2. 2年	18名	7.5%
3. 3年	14名	5.9%
4. 4年	0名	0%
5. 5年以上	4名	1.6%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	239名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	149名	62.3%
2. 2/3以上出席した	84名	35.1%
3. 半分以上出席した	4名	1.7%
4. 出席は半分未満だった	1名	0.4%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	239名	99.6%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	9名	3.8%
2. 2~3時間未満	9名	3.8%
3. 1~2時間未満	17名	7.1%
4. 30分~1時間未満	30名	12.6%
5. 30分未満	173名	72.4%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	239名	99.6%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	124名
2. インターネットで検索した	57名
3. 参考書を買って調べた	6名
4. 図書館で文献を調べた	32名
5. 友だちと話して理解するようにした	75名
6. 先生に質問した	8名
7. 何もしなかった	73名
未 未記入・無効	1名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	130名	54.4%
4. かなりそうだとと言える	79名	33.1%
3. どちらとも言えない	25名	10.5%
2. あまりそうとは言えない	3名	1.3%
1. いいえ	1名	0.4%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	239名	99.6%

評価ポイント平均値 4.40

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	96名	40.2%
4. かなりそうだとと言える	82名	34.3%
3. どちらとも言えない	49名	20.5%
2. あまりそうとは言えない	6名	2.5%
1. いいえ	5名	2.1%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	239名	99.6%

評価ポイント平均値 4.08

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	105名	43.9%
4. かなりそうだとと言える	72名	30.1%
3. どちらとも言えない	52名	21.8%
2. あまりそうとは言えない	3名	1.3%
1. いいえ	6名	2.5%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	239名	99.6%

評価ポイント平均値 4.12

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	99名	41.4%
4. かなりそうだとと言える	86名	36%
3. どちらとも言えない	41名	17.2%
2. あまりそうとは言えない	5名	2.1%
1. いいえ	6名	2.5%
未 未記入・無効	2名	0.8%
合計	239名	99.2%

評価ポイント平均値 4.13

教育改善のための学生アンケート

学類		分野		受講者数	回答者数	回答率
共通領域・共通教育		広域選択科目				
科目名	アンケートコード	担当教員				
人間と文化	-	-		985	616	62.5%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	173名	28.1%	2. 行政政策学類	120名	19.5%
3. 経済経営学類	215名	34.9%	4. 現代教養コース	8名	1.3%
5. 共生システム理工学類	94名	15.3%	6. 教育学部	1名	0.2%
7. 行政社会学部	1名	0.2%	8. 経済学部	1名	0.2%
未 未記入・無効	3名	0.5%	合計	616名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	419名	68%
2. 2年	97名	15.7%
3. 3年	63名	10.2%
4. 4年	19名	3.1%
5. 5年以上	13名	2.1%
未 未記入・無効	5名	0.8%
合計	616名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	345名	56%
2. 2/3以上出席した	233名	37.8%
3. 半分以上出席した	26名	4.2%
4. 出席は半分未満だった	8名	1.3%
未 未記入・無効	4名	0.6%
合計	616名	99.4%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	5名	0.8%
2. 2~3時間未満	18名	2.9%
3. 1~2時間未満	58名	9.4%
4. 30分~1時間未満	102名	16.6%
5. 30分未満	428名	69.5%
未 未記入・無効	5名	0.8%
合計	616名	99.2%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	326名
2. インターネットで検索した	135名
3. 参考書を買って調べた	18名
4. 図書館で文献を調べた	48名
5. 友だちと話して理解するようにした	179名
6. 先生に質問した	12名
7. 何もしなかった	191名
未 未記入・無効	3名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	281名	45.6%
4. かなりそうだとと言える	208名	33.8%
3. どちらとも言えない	104名	16.9%
2. あまりそうとは言えない	11名	1.8%
1. いいえ	9名	1.5%
未 未記入・無効	3名	0.5%
合計	616名	99.5%

評価ポイント平均値 4.21

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	252名	40.9%
4. かなりそうだとと言える	198名	32.1%
3. どちらとも言えない	131名	21.3%
2. あまりそうとは言えない	21名	3.4%
1. いいえ	11名	1.8%
未 未記入・無効	3名	0.5%
合計	616名	99.5%

評価ポイント平均値 4.08

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	292名	47.4%
4. かなりそうだとと言える	197名	32%
3. どちらとも言えない	101名	16.4%
2. あまりそうとは言えない	15名	2.4%
1. いいえ	8名	1.3%
未 未記入・無効	3名	0.5%
合計	616名	99.5%

評価ポイント平均値 4.22

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	259名	42%
4. かなりそうだとと言える	228名	37%
3. どちらとも言えない	101名	16.4%
2. あまりそうとは言えない	14名	2.3%
1. いいえ	9名	1.5%
未 未記入・無効	5名	0.8%
合計	616名	99.2%

評価ポイント平均値 4.17

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	広域選択科目

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
社会と歴史	-	-	565	367	65.0%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	41名	11.2%	2. 行政政策学類	157名	42.8%
3. 経済経営学類	77名	21%	4. 現代教養コース	1名	0.3%
5. 共生システム理工学類	86名	23.4%	6. 教育学部	1名	0.3%
7. 行政社会学部	2名	0.5%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.5%	合計	367名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	292名	79.6%
2. 2年	34名	9.3%
3. 3年	26名	7.1%
4. 4年	6名	1.6%
5. 5年以上	6名	1.6%
未 未記入・無効	3名	0.8%
合計	367名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	240名	65.4%
2. 2/3以上出席した	115名	31.3%
3. 半分以上出席した	10名	2.7%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.5%
合計	367名	99.5%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	6名	1.6%
2. 2~3時間未満	7名	1.9%
3. 1~2時間未満	30名	8.2%
4. 30分~1時間未満	70名	19.1%
5. 30分未満	251名	68.4%
未 未記入・無効	3名	0.8%
合計	367名	99.2%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	216名
2. インターネットで検索した	116名
3. 参考書を買って調べた	19名
4. 図書館で文献を調べた	38名
5. 友だちと話して理解するようにした	90名
6. 先生に質問した	12名
7. 何もしなかった	93名
未 未記入・無効	3名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	162名	44.1%
4. かなりそうだとと言える	121名	33%
3. どちらとも言えない	62名	16.9%
2. あまりそうとは言えない	10名	2.7%
1. いいえ	10名	2.7%
未 未記入・無効	2名	0.5%
合計	367名	99.5%

評価ポイント平均値 4.14

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	124名	33.8%
4. かなりそうだとと言える	129名	35.1%
3. どちらとも言えない	80名	21.8%
2. あまりそうとは言えない	19名	5.2%
1. いいえ	13名	3.5%
未 未記入・無効	2名	0.5%
合計	367名	99.5%

評価ポイント平均値 3.91

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	128名	34.9%
4. かなりそうだとと言える	143名	39%
3. どちらとも言えない	67名	18.3%
2. あまりそうとは言えない	13名	3.5%
1. いいえ	12名	3.3%
未 未記入・無効	4名	1.1%
合計	367名	98.9%

評価ポイント平均値 4.00

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	121名	33%
4. かなりそうだとと言える	147名	40.1%
3. どちらとも言えない	67名	18.3%
2. あまりそうとは言えない	13名	3.5%
1. いいえ	12名	3.3%
未 未記入・無効	7名	1.9%
合計	367名	98.1%

評価ポイント平均値 3.98

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	広域選択科目

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
自然と技術	-	-	780	514	65.9%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	141名	27.4%	2. 行政政策学類	68名	13.2%
3. 経済経営学類	177名	34.4%	4. 現代教養コース	3名	0.6%
5. 共生システム理工学類	119名	23.2%	6. 教育学部	0名	0%
7. 行政社会学部	3名	0.6%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	3名	0.6%	合計	514名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	403名	78.4%
2. 2年	70名	13.6%
3. 3年	18名	3.5%
4. 4年	7名	1.4%
5. 5年以上	11名	2.2%
未 未記入・無効	5名	1%
合計	514名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	320名	62.3%
2. 2/3以上出席した	168名	32.7%
3. 半分以上出席した	18名	3.5%
4. 出席は半分未満だった	5名	1%
未 未記入・無効	3名	0.6%
合計	514名	99.4%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	7名	1.4%
2. 2~3時間未満	9名	1.8%
3. 1~2時間未満	48名	9.3%
4. 30分~1時間未満	77名	15%
5. 30分未満	368名	71.6%
未 未記入・無効	5名	1%
合計	514名	99%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	248名
2. インターネットで検索した	164名
3. 参考書を買って調べた	12名
4. 図書館で文献を調べた	31名
5. 友だちと話して理解するようにした	153名
6. 先生に質問した	23名
7. 何もしなかった	161名
未 未記入・無効	6名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	298名	58%
4. かなりそうだとと言える	154名	30%
3. どちらとも言えない	56名	10.9%
2. あまりそうとは言えない	1名	0.2%
1. いいえ	2名	0.4%
未 未記入・無効	3名	0.6%
合計	514名	99.4%

評価ポイント平均値 4.46

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	255名	49.6%
4. かなりそうだとと言える	161名	31.3%
3. どちらとも言えない	79名	15.4%
2. あまりそうとは言えない	12名	2.3%
1. いいえ	3名	0.6%
未 未記入・無効	4名	0.8%
合計	514名	99.2%

評価ポイント平均値 4.28

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	293名	57%
4. かなりそうだとと言える	152名	29.6%
3. どちらとも言えない	49名	9.5%
2. あまりそうとは言えない	15名	2.9%
1. いいえ	1名	0.2%
未 未記入・無効	4名	0.8%
合計	514名	99.2%

評価ポイント平均値 4.41

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	264名	51.4%
4. かなりそうだとと言える	182名	35.4%
3. どちらとも言えない	51名	9.9%
2. あまりそうとは言えない	6名	1.2%
1. いいえ	2名	0.4%
未 未記入・無効	9名	1.8%
合計	514名	98.2%

評価ポイント平均値 4.39

教育改善のための学生アンケート

学類		分野			
共通領域・共通教育		情報教育科目			
科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	678	531	78.3%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	195名	36.7%	2. 行政政策学類	80名	15.1%
3. 経済経営学類	142名	26.7%	4. 現代教養コース	0名	0%
5. 共生システム理工学類	112名	21.1%	6. 教育学部	1名	0.2%
7. 行政社会学部	0名	0%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	1名	0.2%	合計	531名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	517名	97.4%
2. 2年	7名	1.3%
3. 3年	3名	0.6%
4. 4年	0名	0%
5. 5年以上	2名	0.4%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	531名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	387名	72.9%
2. 2/3以上出席した	139名	26.2%
3. 半分以上出席した	3名	0.6%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	531名	99.6%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	16名	3%
2. 2~3時間未満	27名	5.1%
3. 1~2時間未満	36名	6.8%
4. 30分~1時間未満	47名	8.9%
5. 30分未満	403名	75.9%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	531名	99.6%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	134名
2. インターネットで検索した	145名
3. 参考書を買って調べた	13名
4. 図書館で文献を調べた	4名
5. 友達と話して理解するようにした	221名
6. 先生に質問した	81名
7. 何もしなかった	195名
未 未記入・無効	2名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	299名	56.3%
4. かなりそうだとと言える	144名	27.1%
3. どちらとも言えない	65名	12.2%
2. あまりそうとは言えない	18名	3.4%
1. いいえ	5名	0.9%
未 未記入・無効	0名	0%
合計	531名	100%

評価ポイント平均値 4.34

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	263名	49.5%
4. かなりそうだとと言える	139名	26.2%
3. どちらとも言えない	94名	17.7%
2. あまりそうとは言えない	27名	5.1%
1. いいえ	8名	1.5%
未 未記入・無効	0名	0%
合計	531名	100%

評価ポイント平均値 4.17

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	267名	50.3%
4. かなりそうだとと言える	133名	25%
3. どちらとも言えない	89名	16.8%
2. あまりそうとは言えない	33名	6.2%
1. いいえ	9名	1.7%
未 未記入・無効	0名	0%
合計	531名	100%

評価ポイント平均値 4.16

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	262名	49.3%
4. かなりそうだとと言える	158名	29.8%
3. どちらとも言えない	81名	15.3%
2. あまりそうとは言えない	23名	4.3%
1. いいえ	7名	1.3%
未 未記入・無効	0名	0%
合計	531名	100%

評価ポイント平均値 4.21

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	健康・運動科目

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
健康・運動科学実習、スポーツ実習	-	-	1099	996	90.6%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	338名	33.9%	2. 行政政策学類	211名	21.2%
3. 経済経営学類	257名	25.8%	4. 現代教養コース	1名	0.1%
5. 共生システム理工学類	186名	18.7%	6. 教育学部	0名	0%
7. 行政社会学部	1名	0.1%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.2%	合計	996名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	873名	87.7%
2. 2年	38名	3.8%
3. 3年	19名	1.9%
4. 4年	52名	5.2%
5. 5年以上	7名	0.7%
未 未記入・無効	7名	0.7%
合計	996名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	729名	73.2%
2. 2/3以上出席した	257名	25.8%
3. 半分以上出席した	5名	0.5%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	5名	0.5%
合計	996名	99.5%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	43名	4.3%
2. 2~3時間未満	5名	0.5%
3. 1~2時間未満	41名	4.1%
4. 30分~1時間未満	47名	4.7%
5. 30分未満	853名	85.6%
未 未記入・無効	7名	0.7%
合計	996名	99.3%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	40名
2. インターネットで検索した	86名
3. 参考書を買って調べた	19名
4. 図書館で文献を調べた	20名
5. 友だちと話して理解するようにした	407名
6. 先生に質問した	148名
7. 何もしなかった	497名
未 未記入・無効	7名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	808名	81.1%
4. かなりそうだとと言える	148名	14.9%
3. どちらとも言えない	28名	2.8%
2. あまりそうとは言えない	3名	0.3%
1. いいえ	4名	0.4%
未 未記入・無効	5名	0.5%
合計	996名	99.5%

評価ポイント平均値 4.77

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	762名	76.5%
4. かなりそうだとと言える	169名	17%
3. どちらとも言えない	46名	4.6%
2. あまりそうとは言えない	9名	0.9%
1. いいえ	4名	0.4%
未 未記入・無効	6名	0.6%
合計	996名	99.4%

評価ポイント平均値 4.69

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	759名	76.2%
4. かなりそうだとと言える	173名	17.4%
3. どちらとも言えない	47名	4.7%
2. あまりそうとは言えない	5名	0.5%
1. いいえ	4名	0.4%
未 未記入・無効	8名	0.8%
合計	996名	99.2%

評価ポイント平均値 4.70

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	781名	78.4%
4. かなりそうだとと言える	158名	15.9%
3. どちらとも言えない	36名	3.6%
2. あまりそうとは言えない	3名	0.3%
1. いいえ	5名	0.5%
未 未記入・無効	13名	1.3%
合計	996名	98.7%

評価ポイント平均値 4.74

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	英語

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
英語科目	-	-	3878	2925	75.4%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	859名	29.4%	2. 行政政策学類	679名	23.2%
3. 経済経営学類	779名	26.6%	4. 現代教養コース	3名	0.1%
5. 共生システム理工学類	589名	20.1%	6. 教育学部	5名	0.2%
7. 行政社会学部	5名	0.2%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	6名	0.2%	合計	2925名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	1488名	50.9%
2. 2年	1253名	42.8%
3. 3年	120名	4.1%
4. 4年	26名	0.9%
5. 5年以上	29名	0.9%
未 未記入・無効	9名	0.3%
合計	2925名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	1754名	60%
2. 2/3以上出席した	1111名	38%
3. 半分以上出席した	44名	1.5%
4. 出席は半分未満だった	5名	0.2%
未 未記入・無効	11名	0.4%
合計	2925名	99.6%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	86名	2.9%
2. 2~3時間未満	236名	8.1%
3. 1~2時間未満	795名	27.2%
4. 30分~1時間未満	888名	30.4%
5. 30分未満	911名	31.1%
未 未記入・無効	9名	0.3%
合計	2925名	99.7%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	0名
2. インターネットで検索した	0名
3. 参考書を買って調べた	0名
4. 図書館で文献を調べた	0名
5. 友だちと話して理解するようにした	0名
6. 先生に質問した	0名
7. 何もなかった	0名
未 未記入・無効	2925名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	1976名	67.6%
4. かなりそうだとと言える	700名	23.9%
3. どちらとも言えない	194名	6.6%
2. あまりそうとは言えない	32名	1.1%
1. いいえ	17名	0.6%
未 未記入・無効	6名	0.2%
合計	2925名	99.8%

評価ポイント平均値 4.57

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	1711名	58.5%
4. かなりそうだとと言える	807名	27.6%
3. どちらとも言えない	301名	10.3%
2. あまりそうとは言えない	78名	2.7%
1. いいえ	20名	0.7%
未 未記入・無効	8名	0.3%
合計	2925名	99.7%

評価ポイント平均値 4.41

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	1750名	59.8%
4. かなりそうだとと言える	787名	26.9%
3. どちらとも言えない	290名	9.9%
2. あまりそうとは言えない	76名	2.6%
1. いいえ	13名	0.4%
未 未記入・無効	9名	0.3%
合計	2925名	99.7%

評価ポイント平均値 4.44

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	1776名	60.7%
4. かなりそうだとと言える	815名	27.9%
3. どちらとも言えない	245名	8.4%
2. あまりそうとは言えない	54名	1.8%
1. いいえ	19名	0.6%
未 未記入・無効	16名	0.5%
合計	2925名	99.5%

評価ポイント平均値 4.47

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	非英外国語

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
ドイツ語	-	-	482	448	92.9%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	152名	33.9%	2. 行政政策学類	128名	28.6%
3. 経済経営学類	96名	21.4%	4. 現代教養コース	0名	0%
5. 共生システム理工学類	68名	15.2%	6. 教育学部	2名	0.4%
7. 行政社会学部	0名	0%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.4%	合計	448名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	406名	90.6%
2. 2年	29名	6.5%
3. 3年	8名	1.8%
4. 4年	0名	0%
5. 5年以上	3名	0.6%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	448名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	322名	71.9%
2. 2/3以上出席した	123名	27.5%
3. 半分以上出席した	1名	0.2%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	448名	99.6%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	6名	1.3%
2. 2~3時間未満	20名	4.5%
3. 1~2時間未満	125名	27.9%
4. 30分~1時間未満	190名	42.4%
5. 30分未満	105名	23.4%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	448名	99.6%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	386名
2. インターネットで検索した	49名
3. 参考書を買って調べた	47名
4. 図書館で文献を調べた	14名
5. 友だちと話して理解するようにした	291名
6. 先生に質問した	103名
7. 何もしなかった	23名
未 未記入・無効	2名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	292名	65.2%
4. かなりそうだとと言える	107名	23.9%
3. どちらとも言えない	36名	8%
2. あまりそうとは言えない	9名	2%
1. いいえ	2名	0.4%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	448名	99.6%

評価ポイント平均値 4.52

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	260名	58%
4. かなりそうだとと言える	146名	32.6%
3. どちらとも言えない	33名	7.4%
2. あまりそうとは言えない	5名	1.1%
1. いいえ	2名	0.4%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	448名	99.6%

評価ポイント平均値 4.47

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	262名	58.5%
4. かなりそうだとと言える	147名	32.8%
3. どちらとも言えない	32名	7.1%
2. あまりそうとは言えない	3名	0.7%
1. いいえ	2名	0.4%
未 未記入・無効	2名	0.4%
合計	448名	99.6%

評価ポイント平均値 4.49

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	267名	59.6%
4. かなりそうだとと言える	137名	30.6%
3. どちらとも言えない	35名	7.8%
2. あまりそうとは言えない	4名	0.9%
1. いいえ	2名	0.4%
未 未記入・無効	3名	0.7%
合計	448名	99.3%

評価ポイント平均値 4.49

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	非英外国語

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
フランス語	-	-	290	266	91.7%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	60名	22.6%	2. 行政政策学類	42名	15.8%
3. 経済経営学類	99名	37.2%	4. 現代教養コース	0名	0%
5. 共生システム理工学類	62名	23.3%	6. 教育学部	0名	0%
7. 行政社会学部	0名	0%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	3名	1.1%	合計	266名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	259名	97.4%
2. 2年	2名	0.8%
3. 3年	0名	0%
4. 4年	2名	0.8%
5. 5年以上	2名	0.8%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	266名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	177名	66.5%
2. 2/3以上出席した	83名	31.2%
3. 半分以上出席した	5名	1.9%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	266名	99.6%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	9名	3.4%
2. 2~3時間未満	13名	4.9%
3. 1~2時間未満	66名	24.8%
4. 30分~1時間未満	110名	41.4%
5. 30分未満	67名	25.2%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	266名	99.6%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	209名
2. インターネットで検索した	15名
3. 参考書を買って調べた	27名
4. 図書館で文献を調べた	8名
5. 友だちと話して理解するようにした	148名
6. 先生に質問した	38名
7. 何もしなかった	31名
未 未記入・無効	1名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	148名	55.6%
4. かなりそうだとと言える	78名	29.3%
3. どちらとも言えない	32名	12%
2. あまりそうとは言えない	7名	2.6%
1. いいえ	0名	0%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	266名	99.6%

評価ポイント平均値 4.38

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	152名	57.1%
4. かなりそうだとと言える	76名	28.6%
3. どちらとも言えない	29名	10.9%
2. あまりそうとは言えない	7名	2.6%
1. いいえ	1名	0.4%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	266名	99.6%

評価ポイント平均値 4.40

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	166名	62.4%
4. かなりそうだとと言える	69名	25.9%
3. どちらとも言えない	28名	10.5%
2. あまりそうとは言えない	2名	0.8%
1. いいえ	0名	0%
未 未記入・無効	1名	0.4%
合計	266名	99.6%

評価ポイント平均値 4.51

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか？評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	156名	58.6%
4. かなりそうだとと言える	74名	27.8%
3. どちらとも言えない	31名	11.7%
2. あまりそうとは言えない	3名	1.1%
1. いいえ	0名	0%
未 未記入・無効	2名	0.8%
合計	266名	99.2%

評価ポイント平均値 4.45

教育改善のための学生アンケート

学類	分野
共通領域・共通教育	非英外国語

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
中国語	-	-	767	732	95.4%

I.

(1) 学部

1. 人間発達化学類	204名	27.9%	2. 行政政策学類	213名	29.1%
3. 経済経営学類	182名	24.9%	4. 現代教養コース	2名	0.3%
5. 共生システム理工学類	125名	17.1%	6. 教育学部	2名	0.3%
7. 行政社会学部	3名	0.4%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	1名	0.1%	合計	732名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	643名	87.8%
2. 2年	68名	9.3%
3. 3年	10名	1.4%
4. 4年	4名	0.5%
5. 5年以上	5名	0.7%
未 未記入・無効	2名	0.3%
合計	732名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	551名	75.3%
2. 2/3以上出席した	171名	23.4%
3. 半分以上出席した	6名	0.8%
4. 出席は半分未満だった	0名	0%
未 未記入・無効	4名	0.5%
合計	732名	99.5%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	8名	1.1%
2. 2~3時間未満	42名	5.7%
3. 1~2時間未満	173名	23.6%
4. 30分~1時間未満	289名	39.5%
5. 30分未満	218名	29.8%
未 未記入・無効	2名	0.3%
合計	732名	99.7%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	550名
2. インターネットで検索した	63名
3. 参考書を買って調べた	45名
4. 図書館で文献を調べた	15名
5. 友だちと話して理解するようにした	453名
6. 先生に質問した	114名
7. 何もしなかった	58名
未 未記入・無効	4名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	476名	65%
4. かなりそうだとと言える	205名	28%
3. どちらとも言えない	42名	5.7%
2. あまりそうとは言えない	5名	0.7%
1. いいえ	3名	0.4%
未 未記入・無効	1名	0.1%
合計	732名	99.9%

評価ポイント平均値 4.57

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	444名	60.7%
4. かなりそうだとと言える	216名	29.5%
3. どちらとも言えない	60名	8.2%
2. あまりそうとは言えない	5名	0.7%
1. いいえ	4名	0.5%
未 未記入・無効	3名	0.4%
合計	732名	99.6%

評価ポイント平均値 4.50

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	449名	61.3%
4. かなりそうだとと言える	225名	30.7%
3. どちらとも言えない	47名	6.4%
2. あまりそうとは言えない	7名	1%
1. いいえ	3名	0.4%
未 未記入・無効	1名	0.1%
合計	732名	99.9%

評価ポイント平均値 4.52

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	450名	61.5%
4. かなりそうだとと言える	230名	31.4%
3. どちらとも言えない	44名	6%
2. あまりそうとは言えない	4名	0.5%
1. いいえ	3名	0.4%
未 未記入・無効	1名	0.1%
合計	732名	99.9%

評価ポイント平均値 4.53

教育改善のための学生アンケート

学類					
共通領域・共通教育					
科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	12382	9392	75.9%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	2821名	30%	2. 行政政策学類	1992名	21.2%
3. 経済経営学類	2640名	28.1%	4. 現代教養コース	77名	0.8%
5. 共生システム理工学類	1794名	19.1%	6. 教育学部	15名	0.2%
7. 行政社会学部	18名	0.2%	8. 経済学部	6名	0.1%
未 未記入・無効	29名	0.3%	合計	9392名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	6587名	70.1%
2. 2年	2232名	23.8%
3. 3年	309名	3.3%
4. 4年	120名	1.3%
5. 5年以上	102名	1.1%
未 未記入・無効	42名	0.4%
合計	9392名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	6176名	65.8%
2. 2/3以上出席した	3010名	32%
3. 半分以上出席した	142名	1.5%
4. 出席は半分未満だった	21名	0.2%
未 未記入・無効	43名	0.5%
合計	9392名	99.5%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	243名	2.6%
2. 2~3時間未満	429名	4.6%
3. 1~2時間未満	1511名	16.1%
4. 30分~1時間未満	2046名	21.8%
5. 30分未満	5121名	54.5%
未 未記入・無効	42名	0.4%
合計	9392名	99.6%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	4772名
2. インターネットで検索した	1577名
3. 参考書を買って調べた	424名
4. 図書館で文献を調べた	325名
5. 友だちと話して理解するようにした	4033名
6. 先生に質問した	884名
7. 何もなかった	2569名
未 未記入・無効	49名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	5802名	61.8%
4. かなりそうだとと言える	2447名	26.1%
3. どちらとも言えない	896名	9.5%
2. あまりそうとは言えない	135名	1.4%
1. いいえ	78名	0.8%
未 未記入・無効	34名	0.4%
合計	9392名	99.6%

評価ポイント平均値 4.47

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	5137名	54.7%
4. かなりそうだとと言える	2665名	28.4%
3. どちらとも言えない	1217名	13%
2. あまりそうとは言えない	235名	2.5%
1. いいえ	98名	1%
未 未記入・無効	40名	0.4%
合計	9392名	99.6%

評価ポイント平均値 4.34

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	5328名	56.7%
4. かなりそうだとと言える	2645名	28.2%
3. どちらとも言えない	1073名	11.4%
2. あまりそうとは言えない	216名	2.3%
1. いいえ	86名	0.9%
未 未記入・無効	44名	0.5%
合計	9392名	99.5%

評価ポイント平均値 4.38

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	5265名	56.1%
4. かなりそうだとと言える	2794名	29.7%
3. どちらとも言えない	996名	10.6%
2. あまりそうとは言えない	169名	1.8%
1. いいえ	94名	1%
未 未記入・無効	74名	0.8%
合計	9392名	99.2%

評価ポイント平均値 4.39

教育改善のための学生アンケート

学類
人間発達文化学類

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	8415	5620	66.8%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	4921名	87.6%	2. 行政政策学類	261名	4.6%
3. 経済経営学類	141名	2.5%	4. 現代教養コース	77名	1.4%
5. 共生システム理工学類	181名	3.2%	6. 教育学部	5名	0.1%
7. 行政社会学部	9名	0.2%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	25名	0.4%	合計	5620名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	1098名	19.5%
2. 2年	2428名	43.2%
3. 3年	1642名	29.2%
4. 4年	346名	6.2%
5. 5年以上	57名	1.1%
未 未記入・無効	49名	0.9%
合計	5620名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	3076名	54.7%
2. 2/3以上出席した	2287名	40.7%
3. 半分以上出席した	190名	3.4%
4. 出席は半分未満だった	24名	0.4%
未 未記入・無効	43名	0.8%
合計	5620名	99.2%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	276名	4.9%
2. 2~3時間未満	263名	4.7%
3. 1~2時間未満	655名	11.7%
4. 30分~1時間未満	975名	17.3%
5. 30分未満	3403名	60.6%
未 未記入・無効	48名	0.9%
合計	5620名	99.1%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	3105名
2. インターネットで検索した	1305名
3. 参考書を買って調べた	259名
4. 図書館で文献を調べた	505名
5. 友だちと話して理解するようにした	2498名
6. 先生に質問した	584名
7. 何もなかった	1253名
未 未記入・無効	44名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	3431名	61%
4. かなりそうだとと言える	1573名	28%
3. どちらとも言えない	510名	9.1%
2. あまりそうとは言えない	54名	1%
1. いいえ	24名	0.4%
未 未記入・無効	28名	0.5%
合計	5620名	99.5%

評価ポイント平均値 4.49

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	2934名	52.2%
4. かなりそうだとと言える	1725名	30.7%
3. どちらとも言えない	788名	14%
2. あまりそうとは言えない	107名	1.9%
1. いいえ	35名	0.6%
未 未記入・無効	31名	0.6%
合計	5620名	99.4%

評価ポイント平均値 4.33

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	3126名	55.6%
4. かなりそうだとと言える	1656名	29.5%
3. どちらとも言えない	670名	11.9%
2. あまりそうとは言えない	93名	1.7%
1. いいえ	44名	0.8%
未 未記入・無効	31名	0.6%
合計	5620名	99.4%

評価ポイント平均値 4.38

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	3061名	54.5%
4. かなりそうだとと言える	1793名	31.9%
3. どちらとも言えない	602名	10.7%
2. あまりそうとは言えない	85名	1.5%
1. いいえ	29名	0.5%
未 未記入・無効	50名	0.9%
合計	5620名	99.1%

評価ポイント平均値 4.40

教育改善のための学生アンケート

学類
行政政策学類

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	4541	1967	43.3%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	136名	6.9%	2. 行政政策学類	1590名	80.8%
3. 経済経営学類	120名	6.1%	4. 現代教養コース	66名	3.4%
5. 共生システム理工学類	31名	1.6%	6. 教育学部	1名	0.1%
7. 行政社会学部	13名	0.7%	8. 経済学部	1名	0.1%
未 未記入・無効	9名	0.5%	合計	1967名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	336名	17.1%
2. 2年	650名	33%
3. 3年	832名	42.3%
4. 4年	98名	5%
5. 5年以上	39名	2.1%
未 未記入・無効	12名	0.6%
合計	1967名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	988名	50.2%
2. 2/3以上出席した	788名	40.1%
3. 半分以上出席した	134名	6.8%
4. 出席は半分未満だった	42名	2.1%
未 未記入・無効	15名	0.8%
合計	1967名	99.2%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	36名	1.8%
2. 2~3時間未満	40名	2%
3. 1~2時間未満	183名	9.3%
4. 30分~1時間未満	323名	16.4%
5. 30分未満	1373名	69.8%
未 未記入・無効	12名	0.6%
合計	1967名	99.4%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	1160名
2. インターネットで検索した	432名
3. 参考書を買って調べた	175名
4. 図書館で文献を調べた	234名
5. 友だちと話して理解するようにした	535名
6. 先生に質問した	61名
7. 何もしなかった	536名
未 未記入・無効	13名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	1058名	53.8%
4. かなりそうだとと言える	536名	27.2%
3. どちらとも言えない	245名	12.5%
2. あまりそうとは言えない	80名	4.1%
1. いいえ	32名	1.6%
未 未記入・無効	16名	0.8%
合計	1967名	99.2%

評価ポイント平均値 4.29

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	893名	45.4%
4. かなりそうだとと言える	596名	30.3%
3. どちらとも言えない	324名	16.5%
2. あまりそうとは言えない	82名	4.2%
1. いいえ	53名	2.7%
未 未記入・無効	19名	1%
合計	1967名	99%

評価ポイント平均値 4.13

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	953名	48.4%
4. かなりそうだとと言える	586名	29.8%
3. どちらとも言えない	277名	14.1%
2. あまりそうとは言えない	86名	4.4%
1. いいえ	48名	2.4%
未 未記入・無効	17名	0.9%
合計	1967名	99.1%

評価ポイント平均値 4.18

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	917名	46.6%
4. かなりそうだとと言える	615名	31.3%
3. どちらとも言えない	274名	13.9%
2. あまりそうとは言えない	91名	4.6%
1. いいえ	44名	2.2%
未 未記入・無効	26名	1.3%
合計	1967名	98.7%

評価ポイント平均値 4.17

教育改善のための学生アンケート

学類
経済経営学類

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	5584	3081	55.2%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	16名	0.5%	2. 行政政策学類	257名	8.3%
3. 経済経営学類	2608名	84.6%	4. 現代教養コース	71名	2.3%
5. 共生システム理工学類	102名	3.3%	6. 教育学部	8名	0.3%
7. 行政社会学部	2名	0.1%	8. 経済学部	4名	0.1%
未 未記入・無効	13名	0.4%	合計	3081名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	375名	12.2%
2. 2年	1031名	33.5%
3. 3年	1449名	47%
4. 4年	150名	4.9%
5. 5年以上	49名	1.6%
未 未記入・無効	27名	0.9%
合計	3081名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	1834名	59.5%
2. 2/3以上出席した	970名	31.5%
3. 半分以上出席した	164名	5.3%
4. 出席は半分未満だった	86名	2.8%
未 未記入・無効	27名	0.9%
合計	3081名	99.1%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	116名	3.8%
2. 2~3時間未満	108名	3.5%
3. 1~2時間未満	383名	12.4%
4. 30分~1時間未満	663名	21.5%
5. 30分未満	1784名	57.9%
未 未記入・無効	27名	0.9%
合計	3081名	99.1%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	2048名
2. インターネットで検索した	470名
3. 参考書を買って調べた	309名
4. 図書館で文献を調べた	192名
5. 友だちと話して理解するようにした	1155名
6. 先生に質問した	137名
7. 何もなかった	644名
未 未記入・無効	25名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	1834名	59.5%
4. かなりそうだとと言える	907名	29.4%
3. どちらとも言えない	257名	8.3%
2. あまりそうとは言えない	33名	1.1%
1. いいえ	26名	0.8%
未 未記入・無効	24名	0.8%
合計	3081名	99.2%

評価ポイント平均値 4.47

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	1542名	50%
4. かなりそうだとと言える	921名	29.9%
3. どちらとも言えない	466名	15.1%
2. あまりそうとは言えない	79名	2.6%
1. いいえ	48名	1.6%
未 未記入・無効	25名	0.8%
合計	3081名	99.2%

評価ポイント平均値 4.25

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	1600名	51.9%
4. かなりそうだとと言える	926名	30.1%
3. どちらとも言えない	405名	13.1%
2. あまりそうとは言えない	82名	2.7%
1. いいえ	42名	1.4%
未 未記入・無効	26名	0.8%
合計	3081名	99.2%

評価ポイント平均値 4.30

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	1503名	48.8%
4. かなりそうだとと言える	1050名	34.1%
3. どちらとも言えない	393名	12.8%
2. あまりそうとは言えない	65名	2.1%
1. いいえ	33名	1.1%
未 未記入・無効	37名	1.2%
合計	3081名	98.8%

評価ポイント平均値 4.29

教育改善のための学生アンケート

学類
現代教養コース

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1721	1148	66.7%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	0名	0%	2. 行政政策学類	0名	0%
3. 経済経営学類	0名	0%	4. 現代教養コース	1132名	98.6%
5. 共生システム理工学類	0名	0%	6. 教育学部	3名	0.3%
7. 行政社会学部	2名	0.2%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	11名	1%	合計	1148名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	426名	37.1%
2. 2年	322名	28%
3. 3年	273名	23.8%
4. 4年	92名	8%
5. 5年以上	22名	2%
未 未記入・無効	13名	1.1%
合計	1148名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	597名	52%
2. 2/3以上出席した	443名	38.6%
3. 半分以上出席した	76名	6.6%
4. 出席は半分未満だった	22名	1.9%
未 未記入・無効	10名	0.9%
合計	1148名	99.1%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	41名	3.6%
2. 2~3時間未満	45名	3.9%
3. 1~2時間未満	148名	12.9%
4. 30分~1時間未満	213名	18.6%
5. 30分未満	688名	59.9%
未 未記入・無効	13名	1.1%
合計	1148名	98.9%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	646名
2. インターネットで検索した	359名
3. 参考書を買って調べた	129名
4. 図書館で文献を調べた	144名
5. 友だちと話して理解するようにした	412名
6. 先生に質問した	84名
7. 何もしなかった	266名
未 未記入・無効	13名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	625名	54.4%
4. かなりそうだとと言える	328名	28.6%
3. どちらとも言えない	153名	13.3%
2. あまりそうとは言えない	15名	1.3%
1. いいえ	13名	1.1%
未 未記入・無効	14名	1.2%
合計	1148名	98.8%

評価ポイント平均値 4.36

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	511名	44.5%
4. かなりそうだとと言える	347名	30.2%
3. どちらとも言えない	215名	18.7%
2. あまりそうとは言えない	46名	4%
1. いいえ	15名	1.3%
未 未記入・無効	14名	1.2%
合計	1148名	98.8%

評価ポイント平均値 4.14

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	547名	47.6%
4. かなりそうだとと言える	352名	30.7%
3. どちらとも言えない	195名	17%
2. あまりそうとは言えない	26名	2.3%
1. いいえ	12名	1%
未 未記入・無効	16名	1.4%
合計	1148名	98.6%

評価ポイント平均値 4.23

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	536名	46.7%
4. かなりそうだとと言える	353名	30.7%
3. どちらとも言えない	193名	16.8%
2. あまりそうとは言えない	22名	1.9%
1. いいえ	14名	1.2%
未 未記入・無効	30名	2.6%
合計	1148名	97.4%

評価ポイント平均値 4.23

教育改善のための学生アンケート

学類					
共生システム理工学類					
科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	4935	3122	63.3%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	14名	0.4%	2. 行政政策学類	95名	3%
3. 経済経営学類	87名	2.8%	4. 現代教養コース	3名	0.1%
5. 共生システム理工学類	2894名	92.7%	6. 教育学部	10名	0.3%
7. 行政社会学部	1名	0%	8. 経済学部	0名	0%
未 未記入・無効	18名	0.6%	合計	3122名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	661名	21.2%
2. 2年	1333名	42.7%
3. 3年	903名	28.9%
4. 4年	107名	3.4%
5. 5年以上	75名	2.4%
未 未記入・無効	43名	1.4%
合計	3122名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	2032名	65.1%
2. 2/3以上出席した	898名	28.8%
3. 半分以上出席した	112名	3.6%
4. 出席は半分未満だった	46名	1.5%
未 未記入・無効	34名	1.1%
合計	3122名	98.9%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	186名	6%
2. 2~3時間未満	110名	3.5%
3. 1~2時間未満	446名	14.3%
4. 30分~1時間未満	704名	22.5%
5. 30分未満	1633名	52.3%
未 未記入・無効	43名	1.4%
合計	3122名	98.6%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	2156名
2. インターネットで検索した	950名
3. 参考書を買って調べた	392名
4. 図書館で文献を調べた	298名
5. 友だちと話して理解するようにした	1179名
6. 先生に質問した	150名
7. 何もしなかった	554名
未 未記入・無効	35名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	1516名	48.6%
4. かなりそうと言える	1038名	33.2%
3. どちらとも言えない	441名	14.1%
2. あまりそうとは言えない	66名	2.1%
1. いいえ	41名	1.3%
未 未記入・無効	20名	0.6%
合計	3122名	99.4%

評価ポイント平均値 4.26

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	1188名	38.1%
4. かなりそうと言える	1090名	34.9%
3. どちらとも言えない	636名	20.4%
2. あまりそうとは言えない	132名	4.2%
1. いいえ	53名	1.7%
未 未記入・無効	23名	0.7%
合計	3122名	99.3%

評価ポイント平均値 4.04

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	1281名	41%
4. かなりそうと言える	1088名	34.8%
3. どちらとも言えない	556名	17.8%
2. あまりそうとは言えない	121名	3.9%
1. いいえ	52名	1.7%
未 未記入・無効	24名	0.8%
合計	3122名	99.2%

評価ポイント平均値 4.11

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	1276名	40.9%
4. かなりそうと言える	1109名	35.5%
3. どちらとも言えない	549名	17.6%
2. あまりそうとは言えない	104名	3.3%
1. いいえ	42名	1.3%
未 未記入・無効	42名	1.3%
合計	3122名	98.7%

評価ポイント平均値 4.13

教育改善のための学生アンケート

学類
専門教育科目

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	25196	14938	59.3%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	5087名	34.1%	2. 行政政策学類	2203名	14.7%
3. 経済経営学類	2956名	19.8%	4. 現代教養コース	1349名	9%
5. 共生システム理工学類	3208名	21.5%	6. 教育学部	27名	0.2%
7. 行政社会学部	27名	0.2%	8. 経済学部	5名	0%
未 未記入・無効	76名	0.5%	合計	14938名	100%

学年(入学してからの年数)

1. 1年	2896名	19.4%
2. 2年	5764名	38.6%
3. 3年	5099名	34.1%
4. 4年	793名	5.3%
5. 5年以上	242名	1.6%
未 未記入・無効	144名	1%
合計	14938名	100%

II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 毎回出席した	8527名	57.1%
2. 2/3以上出席した	5386名	36.1%
3. 半分以上出席した	676名	4.5%
4. 出席は半分未満だった	220名	1.5%
未 未記入・無効	129名	0.9%
合計	14938名	99.1%

(3) 授業時間以外にこの授業に関して1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。

1. 3時間以上	655名	4.4%
2. 2~3時間未満	566名	3.8%
3. 1~2時間未満	1815名	12.2%
4. 30分~1時間未満	2878名	19.3%
5. 30分未満	8881名	59.5%
未 未記入・無効	143名	1%
合計	14938名	99%

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した	9115名
2. インターネットで検索した	3516名
3. 参考書を買って調べた	1264名
4. 図書館で文献を調べた	1373名
5. 友だちと話して理解するようにした	5779名
6. 先生に質問した	1016名
7. 何もしなかった	3253名
未 未記入・無効	130名

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、

その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

5. はい	8464名	56.7%
4. かなりそうだとと言える	4382名	29.3%
3. どちらとも言えない	1606名	10.8%
2. あまりそうとは言えない	248名	1.7%
1. いいえ	136名	0.9%
未 未記入・無効	102名	0.7%
合計	14938名	99.3%

評価ポイント平均値 4.40

(6) 教育の方法は適切でしたか。

5. はい	7068名	47.3%
4. かなりそうだとと言える	4679名	31.3%
3. どちらとも言えない	2429名	16.3%
2. あまりそうとは言えない	446名	3%
1. いいえ	204名	1.4%
未 未記入・無効	112名	0.7%
合計	14938名	99.3%

評価ポイント平均値 4.21

(7) 授業の内容は適切でしたか。

5. はい	7507名	50.3%
4. かなりそうだとと言える	4608名	30.8%
3. どちらとも言えない	2103名	14.1%
2. あまりそうとは言えない	408名	2.7%
1. いいえ	198名	1.3%
未 未記入・無効	114名	0.8%
合計	14938名	99.2%

評価ポイント平均値 4.27

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか? 評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

5. はい	7293名	48.8%
4. かなりそうだとと言える	4920名	32.9%
3. どちらとも言えない	2011名	13.5%
2. あまりそうとは言えない	367名	2.5%
1. いいえ	162名	1.1%
未 未記入・無効	185名	1.2%
合計	14938名	98.8%

評価ポイント平均値 4.28

平成22年度前期実施『教育改善のための学生アンケート』相関係数表

■ 前期平成22年7月実施

人間発達文化学類専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.00			
(6)方法	0.75	1.00		
(7)内容	0.73	0.77	1.00	
(8)総合満足度	0.76	0.78	0.79	1.00

行政政策学類専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.00			
(6)方法	0.76	1.00		
(7)内容	0.73	0.79	1.00	
(8)総合満足度	0.75	0.76	0.77	1.00

経済経営学類相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.00			
(6)方法	0.74	1.00		
(7)内容	0.73	0.80	1.00	
(8)総合満足度	0.70	0.76	0.76	1.00

現代教養コース科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.00			
(6)方法	0.81	1.00		
(7)内容	0.79	0.80	1.00	
(8)総合満足度	0.76	0.75	0.79	1.00

共生システム理工専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.00			
(6)方法	0.80	1.00		
(7)内容	0.74	0.79	1.00	
(8)総合満足度	0.79	0.83	0.80	1.00

共通領域・共通教育科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	(8)総合満足度
(5)姿勢	1.00			
(6)方法	0.75	1.00		
(7)内容	0.73	0.79	1.00	
(8)総合満足度	0.74	0.77	0.78	1.00

未記入のアンケートデータも表に反映されています。

